

# 国東市歴史体験学習館年報

弥生のムラ 安国寺集落遺跡公園

平成 30 年度

国東市歴史体験学習館



## はじめに

国東市歴史体験学習館は、国東市の文化遺産である国史跡安国寺集落遺跡を整備し保存するとともに、「知る・創る・触れる・育てる」をモットーに弥生時代の擬似体験ができる教育施設として設置されました。

平成13年4月の開館以来、収集・展示等の博物館活動はもちろんのこと、安国寺集落遺跡公園を活用した古代の文化や暮らしの知恵を遊びながら学ぶことができる体験学習施設として広く皆様に活用いただいております。

平成30年度は、5月に日本遺産に国東半島が認定され、10月には「文殊耶馬」が名勝に指定されるなど大変めでたい年でした。そして、六郷満山開山1300年の本祭の年として様々な行事が行われましたが、当館内にも写真パネルや映像等で六郷満山文化をPRする展示を行うとともに県立博物館と連携し『聖なる霊場・六郷満山』の執筆者による出版記念講演会を開催しました。

また、六郷満山の縁により世界遺産に認定された岩手県平泉町ともつながることができました。館の企画展は、国の明治150年記念年活動の一環として国東市に所縁のある「明治150年 国東の偉人展」を開催しました。国東市出身の画家江藤 哲氏、建築家吉武東里氏、外交官重光 葵氏に焦点を当て史料展示を弥生のムラ等で、研究者の講演を市内の関係する中学校で行いました。

そして、大分県で開催された第33回国民文化祭・おおいた2018並びに第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会「おおいた大茶会」第5エリア「祈りの谷」分野別事業により「祈りの谷「くにさき」展 指定文化財特別展示「祈り 念じ 拝す」展を開催し、多くの方々にご来場を頂くことができました。県内外からご来場者頂いた皆様に心からお礼を申し上げます。

後半は、大分県立歴史博物館との交流展「“いろ”の考古学 人々が魅せられた色」を開催しました。企画展の期間中にはギャラリートークやワークショップも開催されワークショップでは、幅広い年齢層の方が参加され賑わいました。

今後も国東の優れた先人の足跡や歴史、風土を紹介した企画展を開催し、多くの方々にご覧頂くとともに、来てよかったと喜んでいただける様な弥生のムラにしていきたいと思っております。

また、定期講座や「弥生のムラ くにさき古代祭り」などの館主催の諸行事を通して、弥生時代終末の安国寺集落遺跡を理解していただきたいと考えています。弥生びとの生活の擬似体験を通じて、「自ら考え行動する場、そして市民の憩いの場」としてより多くの方々にご利用いただけるよう取り組んでまいります。

終わりに、弥生のムラ インストラクター協議会の皆様をはじめ、国東市文化財愛護少年団・市内小、中学生・国東高校ボランティア等数多くの方々のご理解・ご協力に対しまして心より感謝申し上げますとともに、今後とも館事業の推進にご支援を賜りますようお願い申し上げます、あいさつと致します。

平成31年3月

国東市歴史体験学習館

館長 吉田 隆 一

# 目 次

I	国東市歴史体験学習館の沿革	3
II	安国寺集落遺跡の概要	3
III	館日誌	4
IV	事業の内容	6
	1 展示部門	
	1) 常設展示	7
	2) 映像ホール	7
	3) 企画展示	7
	2 教育・普及部門	
	1) 弥生のムラ 1泊2日古代への旅	13
	2) 弥生のムラ 歴史講座	13
	3) 古代土器づくり講座	14
	4) 古代かずら工芸講座	14
	5) 古代編物講座	15
	6) 古代とんぼ玉講座	15
	7) 古代石がま料理講座	15
	8) たたら製鉄講座	15
	9) 出前授業	16
	10) 社会見学受入【「昔の道具と暮らし」学習】	17
	11) 名勝「文殊耶馬」「中山仙境（夷谷）」	
	指定記念シンポジウム	19
	12) 平泉交流事業特別講演会	19
	13) 広報活動	20
	3 体験学習部門	
	1) 常設体験	21
	2) 予約体験	21
	3) 企画体験	21
	4) 弥生のムラ 年中行事	23
	4 弥生のムラ祭り	
	1) 弥生のムラ くにさき古代祭り2018	25
	5 協議会・委員会	
	1) 国東市歴史体験学習館協議会	26
	2) 弥生のムラ・インストラクター協議会	27
V	館機構	28
VI	施設の概要	29
VII	平成30年度入館者・体験者数	32
VIII	国東市歴史体験学習館条例・規則	33
IX	収蔵資料	
	1) 寄贈図書団体	35

## I 国東市歴史体験学習館の沿革

昭和 24 年～ 27 年	1949 ～ 1952	安国寺遺跡調査第 1 次発掘調査（大分県教育委員会） 安国寺遺跡調査第 5 次発掘調査（九州文化総合研究所及び県教委共同）
昭和 32 年	1957.3.26	安国寺遺跡中心部が県史跡に指定
昭和 33 年	1958.3	『大分県国東町安国寺弥生式遺跡の調査』調査報告書刊行
昭和 60 年～ 62 年	1985 ～ 1987	安国寺遺跡遺構確認調査（国東町教育委員会）
平成 4 年	1992.4.03	安国寺集落遺跡が国史跡に指定 『史跡安国寺集落遺跡・史跡整備検討委員会』を設立
平成 7 年	1996.3	『史跡安国寺集落遺跡整備基本設計』を策定
平成 9 年	1997.5.20 ～	史跡整備に係る発掘調査（国東町教育委員会）
平成 13 年	2001.4.20	国東町歴史体験学習館完成竣工式
〃	2001.4.21	国東町歴史体験学習館開館
平成 16 年	2004.8.30 2004.9.07	台風 16 号・18 号の影響により、高床住居・倉庫・竪穴住居が全壊あるいは半壊した
平成 17 年		国・県の補助を受け、平成 16 年度の台風災害復旧事業が終了
平成 18 年	2006.3.31	国東町・国見町・武蔵町・安岐町の 4 町合併による国東市誕生に伴い国東市歴史体験学習館に改名
平成 21 年	2009.6.27	国東市に第 1 次安国寺集落遺跡出土品返還（九州大学）
平成 29 年	2017.3	史跡安国寺集落遺跡再整備計画報告書作成
平成 29 年	2017.9	高床式住居補修工事（3 棟）
平成 30 年	2018.3	高床式住居補修工事（4 棟）

## II 安国寺集落遺跡の概要

安国寺遺跡は、昭和 24 年から 27 年にかけて初めて発掘調査が行われ、出土土器は、東九州の弥生時代後期終末の標識土器「安国寺式土器」と命名されました。

また、弥生時代の炭化米を出土した遺跡として、同時期に発掘調査が行われた「登呂遺跡」に対し「西の登呂」と呼ばれるなどの脚光を浴びました。

昭和 53 年からの大規模圃場整備事業に伴った発掘調査（昭和 60 年～ 63 年）では、高床建物の部材や農耕具などの木製品が良好な状態で出土したことで学術的に高い評価を受けました。

以上のような経緯を経て、遺跡の重要性並びに地元住民の方々のご協力により、遺跡の永久保存が決定し、平成 4 年に安国寺集落遺跡が国指定史跡になりました。



### Ⅲ 館日誌

- 4月15日 弥生のムラ  
インストラクター協議会定例会
- 4月17日 特別公開「木造観音菩薩立像」  
6月17日→8月24日まで延長
- 4月18日 国東中学校遠足
- 4月26日 竹田津小学校遠足・勾玉作り体験
- 5月 1日 第1回古代とんぼ玉講座  
とんぼ玉自主講座
- 5月 2日 別府大学学芸員課程実習  
(館内見学・勾玉づくり体験)
- 5月 3日 弥生のムラ 年中行事「端午の節句」
- 5月 8日 第1回古代土器づくり講座
- 5月 9日 第1回古代石がま料理講座
- 5月12日 第1回たたら製鉄講座  
ナイスディバツアール 館内見学
- 5月15日 とんぼ玉講座・とんぼ玉自主講座
- 5月18日 第1回古代かざら工芸講座
- 5月20日 パバスクール 石がま料理体験
- 5月24日 第1回古代編物講座
- 5月28日 文化財愛護少年団総会
- 5月30日 第1回歴史講座
- 6月 1日 明治大学弥生文化研究会
- 6月 5日 とんぼ玉自主講座
- 6月 9日 第2回たたら製鉄講座  
九州産交バスツアール 館内見学
- 6月10日 サイズスイミングスクール  
勾玉づくり体験
- 6月12日 国東小学校5年生 田植え  
第2回土器づくり講座
- 6月13日 第2回古代石がま料理講座  
安岐小学校 6年生 出前授業
- 6月14日 安岐小学校 3年生 社会見学
- 6月15日 富来・国見中央幼稚園 田植え  
第2回古代かざら工芸講座
- 6月17日 弥生のムラ  
インストラクター協議会定例会
- 6月19日 第2回古代とんぼ玉講座
- 6月20日 夢咲体験 芋植え(6/21に変更)
- 6月26日 富来小学校 古代への旅打ち合わせ
- 6月27日 第2回歴史講座
- 6月28日 第2回古代編物講座
- 7月 3日 東島旅行社 館内見学
- ソニー 古代祭り打ち合わせ
- 7月10日 川原老人クラブ1300年祭説明
- 7月11日 第3回古代石がま料理講座
- 7月12日 第1回文化財調査委員会  
史跡整備検討委員会 事前説明
- 7月14日 第3回たたら製鉄講座
- 7月15日 弥生のムラ  
インストラクター協議会定例会  
別府大学学芸員課程 勾玉体験
- 7月16日 別府大学(清水先生他学生3名 黒曜石)
- 7月18日 第3回古代とんぼ玉講座  
とんぼ玉自主講座
- 7月19日 史跡整備検討委員会  
ナイスディバツアール 館内見学
- 7月20日 浜がけサロン DD会  
(みんなの森ウォーキング)
- 7月22日 JTB 福岡支店(勾玉・火おこし体験)
- 7月24日 歴史体験学習館協議会  
第3回土器づくり講座
- 7月25日 とんぼ玉自主講座
- 7月26日 第3回古代編物講座
- 7月27日 第3回歴史講座
- 7月28日 3B 体操くにさき・国東高校 JRC  
石がま料理体験
- 7月29日 台風接近により午後臨時休館
- 7月30日 古代への旅(富来・国見中央幼稚園)  
→7月31日まで
- 7月31日 古代への旅(富来小学校)  
→8月1日まで
- 8月 1日 国東市文化財愛護少年団の集い  
(大分県埋蔵文化センター・大分市美術館)  
九州ブロック  
サイクリングターミナル協議会
- 8月 7日 とんぼ玉自主講座  
かぼすの丘(勾玉体験)
- 8月 8日 山村留学 石がま料理体験
- 8月10日 もりもりキッズ 勾玉体験
- 8月11日 別府大学(たたら見学)
- 8月17日 第3回古代かざら工芸講座
- 8月19日 金光教北部連合会  
(勾玉・火おこし・石がま料理体験)
- 8月20日 第4回たたら製鉄講座

	福祉課 こどもの城 団体見学		バナナツアー
8月21日	第4回古代とんぼ玉講座 とんぼ玉自主講座	10月16日	第6回古代とんぼ玉講座 とんぼ玉自主講座
8月22日	第4回歴史講座 大分県文化財愛護少年団総会 中桐造園設計画書協議	10月19日	武蔵西地区公民館石がま料理体験
8月23日	田染公民館わくわく体験教室 (土笛体験)	10月20日	第6回古代かざら工芸講座 大分県愛護少年団の集い(大分市内) オリーブ収穫祭(農政課・JA)
8月25日	大分県教組 国東支部(勾玉体験) 石がま料理体験	10月21日	弥生のムラインストラクター協議会定例会 NHK文化センター 館内見学 観光課オリーブツアー
8月28日	第4回古代土器づくり講座	10月22日	吉武東里講演会
9月1日	ソニー古代祭りボランティア研修	10月25日	第6回古代編物講座
9月2日	武蔵大学 鋳造体験	10月26日	富来幼稚園・国見中央幼稚園 (稲刈り・石がま料理体験)
9月4日	とんぼ玉自主講座	10月28日	千燈寺奥の院 秘仏御開帳と岩屋探訪会 第6回歴史講座 国東町ふるさと祭り
9月5日	富来・国見中央幼稚園 かかし作り	10月30日	教育委員会定例会(会議、館内見学) 鏡校区民生委員会見学
9月9日	弥生のムラ くにしき古代祭り2018 明治150年 国東の偉人展 →①～9月17日まで →②12月15日～平成31年2月3日	10月31日	国東小学校(5年生)稲刈り オレンジ保育園遠足
9月19日	第5回古代とんぼ玉講座 とんぼ玉自主講座	11月2日	国東小学校1・2年生 鍛錬遠足
9月22日	平泉交流事業特別講演会 アストくにさき マルチホール 第5回歴史講座	11月4日	国民文化祭祈りの谷ワークショップ② 第7回歴史講座市外研修 安岐町ふるさと祭り
9月30日	台風により臨時休館	11月6日	大分県教育委員会文化財課意見交換会
10月1日	豊後高田市上南八千代会 館内見学	11月8日	富来小学校3年生社会見学 両子区老人クラブ 館内見学 鶴田老人クラブ 館内見学 由布市老人クラブ連合会 館内見学
10月2日	とんぼ玉自主講座	11月9日	とんぼ玉自主講座
10月6日	【国民文化祭関連事業】 祈りの谷「くにさき」展 指定文化財特別展示 「祈り 念じ 拝す」 →11月25日まで	11月13日	第7回古代土器づくり講座 江藤 哲講演会(国見中学校) 安岐町社協 館内見学
10月7日	国民文化祭 祈りの谷 ワークショップ①	11月14日	第7回古代石がま料理講座
10月10日	第6回古代石がま料理講座 田野町さんさんクラブ (見学・土笛体験)	11月17日	由布市エビスの会 館内見学 和い輪いの会(火おこし・土笛体験)
10月11日	第6回古代土器づくり講座 雲南焼き① 豊前市立図書館歴史講座 館内見学	11月18日	平成30年度むさしおいで祭り キリシタン南蛮文化協定 館内見学
10月12日	第6回古代土器づくり講座 雲南焼き②	11月20日	第7回とんぼ玉講座・とんぼ玉自主講座
10月13日	第6回たたら製鉄講座	11月22日	第7回古代編物講座
10月15日	重光葵講演会	11月24日	日本遺産シンポジウム(豊後高田市) とんぼ玉講座研修 (福岡県・平塚川添遺跡)

	遠賀交通バス（見学）		第10回たたら製鉄講座
11月27日	弥生のムラ・インストラクター研修 （福岡県宗像市）→28日まで		弥生のムラ インストラクター協議会定例会
11月29日	第7回たたら製鉄講座 市外研修	2月13日	第10回古代石がま料理講座 日本分析化学専門学校 館内見学
11月30日	安心院高教研見学	2月14日	国東小学校3年生社会見学
12月 1日	文殊耶馬名勝指定記念シンポジウム （アストくにさき マルチホール） 第8回歴史講座	2月15日	国東小クラブ コマ打ち
12月 4日	とんぼ玉自主講座	2月18日	岐阜県池田町議会視察館内見学
12月 8日	第8回たたら製鉄講座	2月19日	第10回古代とんぼ玉講座 とんぼ玉自主講座
12月 9日	安岐町下原子子ども会 石がま料理体験 弥生のムラ インストラクター協議会定例会	2月22日	第10回古代土器づくり講座
12月10日	武蔵東小学校 出前授業（日本遺産）	2月23日	富来幼稚園餅つき
12月11日	第8回古代土器づくり講座	2月24日	弥生のムラ年中行事「雛節句」
12月12日	第8回古代石がま料理講座	2月28日	第10回古代編物講座
12月13日	第8回古代編物講座	3月 2日	第11回歴史講座 大分県立博歴史文化講座（アスト）
12月15日	江藤哲展スタート（H31 2/3まで）	3月 4日	史跡整備検討委員会
12月18日	第8回古代とんぼ玉講座 とんぼ玉自主講座	3月 9日	第11回たたら製鉄講座 企画展（鑄造体験） ギャラリートーク・ワークショップ
12月19日	文化財調査委員会 市外研修	3月11日	全千葉 弥生のムラ視察
12月22日	石城こどもステーション みらいあ 土笛作り体験	3月12日	オレンジ保育園お別れ遠足 第11回古代土器づくり講座 雲南焼き①
<b>2019年</b>		3月13日	第11回古代土器づくり講座 雲南焼き② 第11回古代石がま料理講座
1月 6日	弥生のムラ 年中行事「七日正月」	3月17日	弥生のムラ インストラクター協議会定例会
1月 8日	第9回古代土器づくり講座	3月19日	第11回古代とんぼ玉講座 とんぼ玉自主講座
1月 9日	第9回古代石がま料理講座	3月28日	第11回古代編物講座
1月12日	第9回たたら製鉄講座		
1月16日	第9回古代とんぼ玉講座 とんぼ玉自主講座		
1月17日	安岐幼稚園 （日本遺産ワークショップ）		
1月19日	発明クラブ 風作り・風上げ 弥生のムラ インストラクター協議会定例会 第9回たたら製鉄講座		
1月24日	第9回古代編物講座		
1月26日	かほすの丘 勾玉づくり体験		
2月 5日	とんぼ玉自主講座		
2月 8日	企画展「"いろ"の考古学」 →3月10日（日）まで		
2月 9日	ギャラリートーク・ワークショップ 第9回歴史講座		

## IV 事業の内容

### 1 展示部門

館内展示は、国史跡安国寺集落遺跡からの出土品を主とし、国東の歴史と自然の紹介、考古資料と民具による道具の変遷、中国浙江省河姆渡遺跡出土品（複製品）の展示、映像による遺跡紹介及び体験メニュー紹介の映像ホールに分かれています。

屋外展示は、発掘調査により出土した遺構と建築部材を基に等身大の高床建物8棟（住居と倉庫を各4棟）と平地式建物1棟計9棟を史跡地内に復元し、出土種子などを主に植栽し、弥生の原風景に近い整備をしており、また園内には、隣接地で検出した竪穴住居4棟を復元しています。

#### 1) 常設展示

##### <国東の自然と歴史>

国東半島の地形をランドサット写真で紹介し、国東の歴史や文化財について歴史年表パネルや写真展示をしています。

##### <安国寺集落遺跡の世界>

昭和20年代の発掘調査の様子や成果を写真パネルで紹介し、安国寺式土器や高床建物の部材の展示をはじめ、出土状況写真や復元模型・小児土器棺の出土状況の復元などを展示し、弥生時代終末の遺跡の特色がわかる展示をしています。

#### 2) 映像ホール

大型スクリーンで遺跡や体験学習館を紹介し、遺跡への理解を深め、各種体験マニュアルを体験学習や総合学習に活用しています。

- ①再現！安国寺集落遺跡の高床住居（9分57秒）
- ②体験！弥生びとの生活（2分30秒）
- ③弥生の土器を作ろう（2分57秒）
- ④雲南焼きで土器を焼こう（3分39秒）
- ⑤火をおこしてみよう（1分54秒）
- ⑥弥生びとの料理を作ってみよう（5分00秒）
- ⑦弥生の布を織ってみよう（4分25秒）
- ⑧弥生の装飾品勾玉を作ろう（2分05秒）

#### 3) 企画展示（体験学習館1階にて）

##### ◆企画展 特別公開「木造観音菩薩立像」

期 間：平成30年4月17日（火）～8月24日（金）

内 容：平成30年2月6日に国東市内より「絹本著色十一面観音来迎図」「紙本著色文殊仙寺境内図」「木造観音菩薩立像」が新たに大分県指定文化財に指定されました。

今回、六郷満山開山1300年と国東市内で開催される国民文化祭関連事業「祈りの谷 くにさき展」に先立って、博物館初公開となる「木造観音菩薩立像」を特別公開します。

閲覧者数：延べ1,506人

実績写真)



◆企画展「明治150年 国東の偉人展」

内 容：「画家 江藤 哲（えとう てつ）」の絵画を展示。期間中には、国東市歴史体験学習館・国見 ふるさと展示館・国見郷愛記念館にて江藤 哲の絵画を中心に3会場で展示を行った。

[国東市歴史体験学習館]

期 間：①平成30年9月9日（日）～9月17日（月・祝）

②平成30年12月15日（土）～平成31年2月3日（日）

[国見ふるさと展示館]

期 間：①平成30年9月16日（日）～平成31年2月3日（日）

[国見郷愛記念館]

期 間：①平成30年10月6日（日）～10月7日（日）

②平成30年10月27日（土）～10月28日（日）

③平成30年11月3日（土・祝）11月4日（日）

閲覧者数：延べ 6,288名

実績写真)



◆第33回国民文化祭・おおいた2018

第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会関連企画展

祈りの谷「くにさき」展 指定文化財特別展示「祈り 念じ 拝す」

期 間：平成30年10月6日（土）～11月25日（日）

内 容：国東市には、信仰に係る文化財が多数存在します。古くから八幡信仰が浸透し現在でも、安岐・武蔵・国東・伊美の4つの郷にはそれぞれ八幡社が残されています。

古代には宇佐八幡宮の強い影響を受けて、桜本宮や六郷山寺院が作られました。中世には、武家社会成立に伴い、大友氏の有力家臣であった田原氏・吉弘氏などから庇護された禅宗文化が花開き、曹洞宗九州総本山であった泉福寺や豊後国安国寺などが建立されました。また、国東市はキリスト教カトリック教会の福者であるベトロ岐部カスイ神父の生誕地でもあり、近世においては、浄土宗、浄土真宗などが庶民の間に急速に拡大していきました。

今回、これらの寺院で信仰の対象となった貴重な文化財を一堂に公開しました。

閲覧者数：延べ1,110名

実績写真)



#### <展示物貸出>

平成30年度 ミニ企画展 大分の縄文土器

期 間) 平成30年5月22日(木)～平成30年9月2日(日)

会 場) 大分県立埋蔵文化財センター

平成30年企画展 大分の考古学史 おおいたを掘る！

期 間) 平成30年12月18日(火)～平成31年2月24日(日)

会 場) 大分県立埋蔵文化財センター



#### ◆企画展「“いろ”の考古学」

期 間) 平成31年2月8日(土)～3月10日(日)

内 容) 私たちの祖先は古くから、色々な“いろ”のついた道具を使用してきました。

幅広く交易された姫島産黒曜石の乳白色、土器や土偶などに塗られた朱色、権威の象徴と魔力を秘めた青銅器の金、銀の輝きなど、その時代で頻繁に使われた“いろ”はそれぞれに重要な意味を持ち、同時に人々はその“いろ”に魅了されてきました。本展示では、大分県立歴史博物館が所蔵、展示している資料と国東市歴史体験学習

館所蔵品の中から、発掘調査で出土した資料を中心に“いろ”に注目して紹介し、人々を魅了してきた色について考えてみます。

ただ、発掘調査で出土した資料は、現在見えている色が当時のものとは異なっていることが少なくありません。

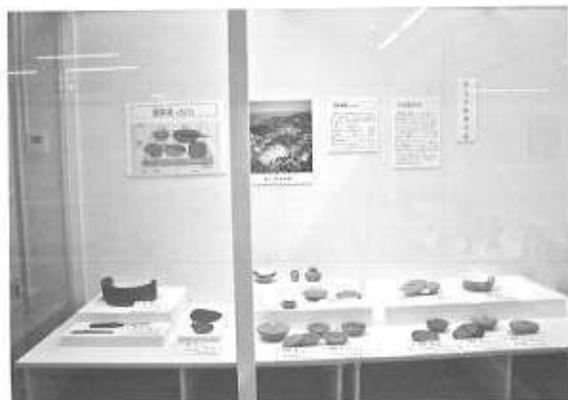
例えば、銅鐸や銅剣といった青銅器は、発掘調査で出土したときには大半が文字通りの緑青色をしています。この緑青色は実は銅の錆びた色です。当時の人々が見ていた“いろ”は、錆びていない状態の色で、銅鐸や銅剣は黄金色あるいは銀色の輝きをしていました。

そこで、本展示では、現在見られている“いろ”と同時に、当時の人々が見ていた“いろ”も、復元した資料を通して紹介します。

是非本展示を通じて、私たちの祖先を魅了してきた“いろ”を感じていただければ幸いです。

閲覧者数：延べ1,056名

実績写真)



\* 第1回ギャラリートーク&ワークショップ

\* 第2回ギャラリートーク&ワークショップ



#### 4) 特別講演会

<国東の偉人 講演会>

【～郷土の偉人 外交官・政治家 重光 葵について～】

開催日時) 平成30年10月15日(月) 午後1時45分～午後2時35分

講師) 武田 知己

聴講者) 安岐中学校全校生徒 196名 ・一般 120名

実績写真)



【～郷土の偉人 建築家 吉武 東里について～】

開催日時) 平成30年10月22日(月) 午後2時45分～午後3時35分

講師) 長谷川 香(はせがわ かおり) 東京藝術大学 美術部建築科 助手

会場) 国東市立国東中学校 体育館

聴講者) 国東中学校全校生徒 215名 ・一般 100名

実績写真)



【～郷土の偉人 画家 江藤 哲について～】

開催日時) 平成30年11月13日(火) 午後1時25分～午後2時35分

講師) 加藤 康彦(かとう やすひこ) 大分県立美術館 副館長

会場) 国東市立国見中学校 体育館

聴講者) 国見中学校全校生徒 80名 ・一般 100名

竹田津小学校児童 20名

実績写真)



【千燈寺奥の院 秘仏御開帳と岩屋探訪会 記念文化講演会】

開催日時) 平成30年10月28日(日) 午後1時30分～午後3時

演題) 「千燈寺から六郷満山の謎にせまる」

講師) 山本 義孝 日本山岳修験学会理事・日本宗教学会会員

会場) 千燈寺本堂

聴講者) 100名

実績写真)



【うさ くにさき 平成30年度 歴史文化講座】

開催日時) 平成31年3月2日(土) 午後1時30分～午後3時30分

演題) 「六郷満山の寺院と岩屋」

講師) 村上 博秋 大分県立歴史博物館

会場) アストくにさき アグリホール

聴講者) 100名

実績写真)



演題) 「神仏習合と六郷満山の彫刻」

講師) 金子 啓明 (かねこ ひろあき) 日本大学大学院芸術学研究科 客員教授

実績写真)



## 2 教育・普及部門

### 1) 弥生のムラ 1泊2日古代への旅

平成30年度は小学校1校、幼稚園2園が参加し、当施設の特徴を生かした古代食や火おこし、勾玉づくり、土器づくり、発掘体験などの古代体験と歴史学習を実施しました。

#### ①富来幼稚園⇒参加者数 19名

(富来幼5名・国見中央6名・教諭8名)

実施日	内容
7月30日(火)	はじめての集い・記念写真・火おこし体験・夕食づくり(古代食等)・読み聞かせ
7月31日(水)	・花火・肝試し・朝食・川遊び・スイカ割り・おわりの集い



#### ②富来小学校⇒参加者数 21名(6年生18名 教諭3名)

実施日	内容
7月31日(火)	発掘体験、施設見学、火おこし体験、土器炊飯、勾玉づくり、土器づくり体験
8月1日(水)	石がま料理体験



### 2) 弥生のムラ 歴史講座 講座生 710名

歴史・考古・民俗など、様々な分野から郷土“くにさき”の歴史を学習し、地域の歴史や安国寺集落遺跡をはじめとする地域の文化財の価値の認識を高めることを目的として実施。今年度は明治150年の記念講演や大分県立歴史博物館との交流展等で一般聴講の方も多かった。

回	開講日	受講者数	講師氏名(敬称略)	演題
1	平成30年 5月30日	37	三浦梅園資料館 研究員 岩見 輝彦	六郷満山と仁聞菩薩について ～三浦梅園が記録した 「抄録帳」を詠む～
2	6月26日	54	国東市歴史体験学習館 学芸員 園田 涼太	宇佐八幡と大隅隼人
3	7月27日	34	国東市歴史体験学習館 管理係 藤本 啓二	中華第一の書聖 「王羲之(おうぎし)」を訪ねて
4	8月22日	39	大分県立先哲史料館 主幹研究員 藤田淳一郎	国東の先哲 (人口心臓ペースメーカーの父) 田原 淳(たはら すなお)について
5	9月22日	94	平泉町 まちづくり推進課長 八重樫 忠郎	「行者の行く道 平泉から国東へ」 ～平泉を育む六郷の山～
6	10月28日	100	日本山岳修験学会理事 日本宗教学会会員 山本 義孝	「千燈寺から六郷満山の謎にせまる」 ～山岳宗教史から見た千燈寺と 六郷満山の実像～

7	11月4日	26	—	大分県立博物館等視察研修
8	12月1日	110	文化庁文化財第二課 主任文化財調査官 平澤 毅	【名勝「文殊耶馬」「中山仙境」 指定記念シンポジウム】 行者の見た世界 ～いにしへの風景を未来へつなぐ～
9	平成31年 2月9日	40	大分県立博物館交流展 "いろ"の考古学 人びとが魅せられた色	大分県立博物館 主任研究員 越智 淳平 学芸員 稗田 優生
10	3月2日	200	うさ・くにさき 歴史文化講座	大分県立博物館 職員 村上 博秋 日本大学客員教授 金子 啓明

実績写真)



### 3) 古代土器づくり講座 講座生4名

古代土器の製作技術や機能・用途などの謎を解きながら古代土器の再現に挑戦し、年に2回雲南焼きで作品を焼きました。

昨年度に引き続き、大型素焼き土器は古代への旅で活用することができました。古代祭りでは、オープン粘土を用いた土器づくりの体験指導を行いました。福永泰信氏が講師として年間12回開催し、延べ33人が参加しました。



### 4) 古代かざら工芸講座 講座生11名

古代より天然素材を生活の中で有効に活用してきた先人の知恵を学び、現代人に希薄な、ものをつくる喜びや道具を大切にする心、自然の恵みへの感謝の心などを参加者に体験してもらうとともに、かざら文化の継承に役立てることを目的として実施しました。小笠原俊明氏が講師として年間4回開催し、延べ35人が参加しました。



#### 5) 古代編物講座 講座生20名

安国寺集落遺跡から出土している地機織り道具などをもとに、1800年前の弥生のムラびとに想いをはせながら、古代編物を通してお互いの生活を豊かなものにすると同時に、郷土の文化・文化財を再認識する一手段として取り組みました。

昨年度同様に出席率が良く、各自の製作に創意工夫があり積極的な取り組みがみられ、古代祭りでは草木染めの体験指導を行いました。松本悦子氏が講師として年間9回開催し、延べ126人が参加しました。



#### 6) 古代とんぼ玉講座 講座生8名

弥生時代の遺跡からガラス玉やガラス勾玉が出土していることを参考に、とんぼ玉づくりを通して弥生時代の文化や知恵を学びました。古代祭りでは講座生がとんぼ玉の体験指導を行いました。郷司紀代氏が講師として年間12回開催し、延べ84人が参加しました。



#### 7) 古代石がま料理講座 講座生36名

平成23年度から新設した講座で、国東市の海の幸や山の幸を使った創作料理を石がまで調理し、講座生が楽しく取り組めるような体験指導を行ないました。

また、弥生のムラ年中行事「端午の節句」では、100人に石がまで焼いたピザをふるまいました。松本悦子氏が講師として、年間9回開催し、延べ244人が参加しました。



#### 8) たたら製鉄講座 講座生 10名

国東半島には古代より製鉄遺構があり、中世においては鉄の産地として大友氏に太刀を献上する書状等（岐部文書）も残っている。本講座では砂鉄と木炭を交互に熱して鉄を生産する日本古来の技術であるたたら製鉄に取り組む。炭切や炉作りといった下準備から、本操業、鉄と不純物の混ざった「ケラ」の取り出し等を実施。今年度は鍛冶屋の見学や刀剣についても学んだ。本年度より中野茂氏が講師として年間11回開催し、延べ66人が参加しました。



## 9) 出前授業

実施回数) 1回

受講者数) 33名

実施日) 平成30年6月13日(水) 午後10時35分～12時15分

内 容) ・国東市安岐小学校の6年生33名を対象として実施した。

- ・最初に映像を使って弥生時代の説明を行った。
- ・館が保有する弥生土器を活用し、児童に実際にふれさせることで歴史や文化財を身近に感じてもらうことを主目的とする。今回は同時に勾玉作りの体験も行った。

持参資料) 弥生土器

実績写真)



【市報くにさき 2018年7月号より】

### 教育の里だより

## 歴史体験学習館弥生のムラ

国東市歴史体験学習館 弥生のムラ（文化財課）では、毎年、学校と連携した様々な取り組みをしています。今回は、6月に行われた、田植えと出前授業について紹介します。

#### 国東小学校 田植え体験

6月12日(水)、国東小学校5年の生徒23名で、弥生のムラの水田で田植えを体験しました。

弥生人扮する館長より歓迎の挨拶があり、当館職員により昔の農具の説明を行った後、田植えの体験をしてもらいました。

何に使う道具だろう？

大きく成長しますように！

#### 安岐小学校 出前授業

6月13日(木)、安岐小学校6年の生徒33名を対象に当館職員が出前授業を行いました。

当館にて収蔵している出土品や映像を使って、弥生土器の説明をしました。また、外に出て勾玉作りの体験も行いました。

大きなつぼだな～

## 10) 社会見学受入

### ①国東市立安岐小学校(41名)

日 時) 平成30年6月14日(木)

内 容) 社会科の3～4年の教育課程「むかしの道具と暮らし」に即して、館収蔵品を提示し、用途などについて質問を交えながら説明をしていった。展示についても、当時の農具について説明を行った。常設展示の安国寺集落遺跡から発掘されたものについての説明を行った。

展示資料) 農機具。安国寺集落遺跡。

実績写真)



### ②国東市立富来小学校(3年生11名)

日 時) 平成30年11月8日(木)

内 容) 社会科の3～4年の教育課程「むかしの道具と暮らし」に即して、館収蔵品を提示し、用途などについて質問を交えながら説明をしていった。農機具を中心に使い方の説明を行った。国民文化祭の「祈りの谷」の企画展を行っていたので郷土の仏像や寺院等についても説明を行った。

提示資料) 農機具。「祈りの谷」展。

実績写真)



### ③国東市国東小学校(3年生31名)

日 時) 平成30年2月14日(木)

内 容) 社会科の3～4年の教育課程「むかしの道具と暮らし」に即して、館収蔵品を提示し、用途などについて質問を交えながら説明をしていった。農機具を中心に使い方の説明を行った。「いろの考古学」の企画展を行っていたので郷土の仏像や寺院等についても説明を行った。

提示資料) 農機具。「いろの考古学」展。

実績写真)



### (5) 高床建物現場見学会

#### ①第1回見学会

日 時) 平成31年2月14日(木)

対 象) 国東小学生3年生31名

内 容) 本年度修復中である高床建物の現場説明会を実施する。解説パネル、説明資料をもとに、高床建物についてのガイダンスをした後、現地において修復の内容について解説を行った。ふき替え前のかやを木槌で打つ作業を体験した。

実績写真)



#### ②第2回見学会

日 時) 平成31年2月24日(日)

対 象) 一般約60名

内 容) 本年度修復中である高床建物の現場説明会を実施する。安国寺集落遺跡常設展示場で、高床建物についてのガイダンスをした後、現地において修復の内容について解説を行った。参加者は一般参加の約60名。本事業は体験学習館の行事「雛節句」と同日に開催した。

実績写真)



### 1 1) 名勝「文殊耶馬」「中山仙境（夷谷）」指定記念シンポジウム

#### 行者の見た世界 ～いにしへの風景を未来へつなぐ～

平成30年10月15日官報告示により「文殊耶馬」「中山仙境（夷谷）」が名勝に指定されたことを受けて、12月1日（土）アストくにさきマルチホールにて指定記念のシンポジウムを開催した。シンポジウムでは、文化庁文化財第二課 主任文化財調査官の平澤 毅 氏をお迎えして名勝について講演を頂いた。講演後地元の関係者がバネリストとなり、コーディネーターの別府大学文学部教授の飯沼 賢司 氏を中心に「名勝を活かした地域づくり」というテーマでディスカッションが行われた。

### 1 2) 平泉交流事業

秋季特別企画の一つとして、平泉交流事業特別講演会を開催した。演題「行者の行く道 平泉から国東へ」～平泉を育む六郷の山～として、講師は平泉より平泉町まちづくり推進課 八重樫忠郎課長を講師に招いて行われた。日頃なかなか聞くことの出来ない奥州平泉の魅力や知られざる六郷山との関係や世界遺産になるまでのエピソードや平泉町の子どもたちの育成など、「平泉学」を通して、自信と誇りをもってふるさとを語る人づくり等の内容で講演して頂いた。

### 1 3) 広報活動

- ・5月3日「弥生のムラから初誕生 2018」では、新聞広告と雑誌への告知文掲載、市内の歩道橋（2か所）へ横断幕の設置を1か月間行う。
- ・9月9日「弥生のムラくにさき古代祭り 2018」では、別府市、日出町、杵築市、豊後高田市の小中学校全校生徒児童へチラシの配付を行う。また、同様に古代祭りのチラシを国東市内全戸に配布するとともに市内の歩道橋（2か所）へ横断幕の設置を1か月間行う。
- ・「明治150年国東の偉人展」と関連行事の「講演会」はチラシを市内全戸と安岐・国東・国見中学校全校生徒へ配付する。また、国道213号線の鶴川歩道橋への横断幕の設置及び各展示施設での共通の「のぼり旗」設置を行う。
- ・「千燈寺奥の院御開帳記念講演会・トレッキング」のチラシは、市内全戸に配布するとともにウォーキング団体等にも個別に配付する。
- ・メディア出演は、NHK福岡に電話で出演し古代祭りの告知を行う。また、中津市のノースFMに偉人展と千燈寺での記念事業の告知のため計2回出演する。
- ・国東ケーブルTV関係は、古代祭りと偉人展の告知に計2回出演する。
- ・「七日正月」は、チラシの全戸配布とケーブルTV本社の取材による放映を行う。
- ・「江藤哲展」は、大分合同新聞社文化面に上・下2回の掲載がある。
- ・「雛節句」「交流展 いろの考古学」「うさ・くにさき歴史文化講演会」は、チラシ組回覧及び市内小学校・幼稚園・保育園全児童配布、月刊シティ情報大分・セーノ・モグモグに広告を掲載する。



### 3 体験学習部門

#### 1) 常設体験

弥生びとの知恵や技を勾玉づくりや土器づくり、火おこしなどの擬似体験を通して学び、自らが考えて行動する力を養うことを目的にしています。原則として小学校4年生以上を対象とし、3年生以下は保護者同伴を基本とします。

##### <常設体験メニュー>

	体験種目	体験内容	時間	料金
1	古代勾玉づくり	5.0 × 3.5 × 1.5cmの滑石を使用	1時間30分	300円
2	古代火おこし	古代の着火法「舞きり」使用	30分	100円
3	鑄造体験 銅鐸写し	100gのビスマスを使用	30分	1,000円
4	鑄造体験 銅鏡写し	50gのビスマスを使用	30分	500円
5	琥珀勾玉づくり	3.0 × 3.5 × 1.0の琥珀を使用	1時間	1,000円
6	土笛づくり	オープン粘土200gを使用	30分	300円

#### 2) 予約体験

##### <事前予約が必要な体験メニュー>

	体験種目	体験内容	時間	料金
1	火おこし道具づくり	舞きり具一式	2時間	2,500円
2	古代食体験	素焼き土器で食事づくり	3時間	200円
3	古代石がま料理体験	石がまで食事づくり	3時間	大人 200円 子ども 100円 新代 1,000円
4	土器づくり	オープン粘土400gを使用	2時間	600円
		陶芸粘土を使用	完成まで約1ヶ月	300円

#### 3) 企画体験

##### ◆小中学校総合学習

##### <中学校>

学校名	実施日	学習内容	学年	員数
国東中学校	4月18日	歓迎遠足	全学年	236

##### <小学校>

学校名	実施日	学習内容	学年	員数
竹田津小学校	4月26日	遠足(勾玉づくり体験)		28
国東小学校	6月12日	田植え	5年	26
安岐小学校	6月13日	出前授業	6年	33
国東小学校	10月31日	稲刈り	5年	26
国東小学校	11月 2日	鍛錬遠足	1・2年	78

<幼稚園・保育園>

園名	実施日	学習内容	員数
富来幼稚園	6月15日	米づくり：田植え・鬼会面マグネット	36
富来幼稚園	9月5日	米づくり：案山子づくり・おこびりづくり ・勾玉づくり	30
富来幼稚園 国見中央幼稚園	10月26日	米づくり：稲刈り・脱穀・石がま料理	36
オレンジ保育所	10月31日	ハイキング	31
富来幼稚園	2月23日	米づくり：餅つき（親子体験）	26
オレンジ保育所	3月12日	お別れ遠足	35

<その他>

団体名	実施日	学習内容	員数
別府大学	5月2日	勾玉体験	53
ババスクール	5月20日	館内見学	28
明治大学弥生研究会	6月1日	館内見学	28
九州産交バスツアー	6月9日	館内見学	28
サイズスイミングスクール	6月10日	勾玉体験	19
夢さき体験スクール	6月20日	芋植え（6/21雨の為延期）	3
東鳥旅行社	7月3日	館内見学	35
別府大学	7月15日	勾玉体験	32
ナイスディバスツアー	7月19日	館内見学	38
JTB福岡支店	7月22日	勾玉・火おこし体験	77
3B体操くにさきジュニア・国東高校 JRC	7月28日	石がま料理体験	59
九州ブロックサイクリングターミナル	8月1日	館内見学	7
かほすの丘	8月7日	勾玉体験	14
山村留学	8月8日	石がま料理体験	7
もりもりキッズ	8月10日	勾玉づくり体験	40
別府大学	8月11日	たたら製鉄見学	10
金光教北部連合会	8月19日	勾玉・火おこし 石がま料理体験	24
福祉課 こどもの城	8月20日	館内見学	90
田深公民館わくわく体験教室	8月23日	土笛づくり体験	26
大分県教組 国東支部	8月25日	勾玉づくり体験	19
武蔵大学	9月2日	鑄造体験	8
豊後高田市 上南八千代会	10月1日	館内見学	20
田野町さんさんクラブ	10月10日	館内見学・土笛づくり体験	38
豊前市立図書館歴史講座	10月11日	館内見学	20
バナナツアー	10月15日	館内見学	20
武蔵西地区公民館	10月16日	石がま料理体験	11
オリーブ収穫祭	10月20日	ワークショップ館利用	40
NHK文化センター	10月21日	館内見学	21
観光課 オリーブツアー	〃	館内見学	19
鏡校区民生委員会	10月30日	館内見学	20
両子区老人クラブ	11月8日	館内見学	32
鶴田老人クラブ	〃	館内見学	15

由布市老人クラブ連合会	々	館内見学	22
安岐社協	11月13日	館内見学	37
由布市エビスの会	11月17日	館内見学	20
和い輪いの会	々	館内見学	15
キリ南交流会	11月18日	館内見学	36
遠賀観光バスツアー	11月24日	館内見学	123
安心院高教研見学	11月30日	館内見学	7
安岐町下原子ども会	12月 9日	石がま料理体験	120
発明クラブ	1月19日	凧作り・凧揚げ	32
かほすの丘	1月26日	勾玉づくり体験	6
日本分析化学専門学校	2月13日	館内見学	96
国小クラブ	2月15日	コマ打ち体験	12
岐阜県池田町議会視察	2月18日	館内見学	11
発明クラブ	3月 9日	鑄造体験	23

#### 4) 弥生のムラ 年中行事

##### \*端午の節句

日時：平成30年5月3日（木・祝）午前10時～午後3時 参加者数約500名

- ①ものづくり体験（大かぶと作り・鯉のぼり作り） 延べ71名
- ②弥生のムラから初誕生⇒赤ちゃん参加者数 92名  
・餅ふみ・餅かるい・物えらび ・泣き相撲
- ③火おこし（無料）
- ④石がま料理ピザを100名に無料配布
- ⑤端午の節句飾り

実績写真)



##### \*伝統の正月遊び体験

日時) 平成31年1月6日（日）午前9時～午後13時 参加者約210名

内容) 近年薄れつつある国東地域の豊かな伝統民俗を、親しみのある参加型のイベントとして実施することにより、「弥生のムラ」から民俗文化財の宝庫とよばれる国東の伝統文化を蘇生・活性化させると次世代への継承を図る。加えて、親子や地域の人たちのふれあいや潤いのある生活形成の一助となるような本事業を実施する。

- ①体験 ・ 凧づくり (参加者数39名)
  - ・ 羽子板づくり (参加者数41名)
  - ・ 干支置物づくり (参加者数20名)
  - ・ 亀の置物づくり (参加者数15名)
  - ・ まが玉づくり (参加者数18名)
  - ・ 火おこし体験 (体験者数40名)
  - ・ 福笑い & 貝合わせコーナー (セルフの為人数は未カウント) 延べ 173名
- ②七草がゆのおふるまい

実績写真)



\* 雛節句

- 日 時) 平成31年2月24日(日) 午前9時～午後3時 参加者数約300名
- 内 容) 桃の節句に合わせて実施。寄贈いただいている雛飾りを館内に展示するとともに、編物講座生の作品等を展示する。ものづくり体験として雛飾りづくりや、羽子板づくり体験を実施、正午に公園内にて棧俵で作った流し雛を実施する。体験学習への参加者数は以下のとおり。
- 館内では和楽器演奏、公園では餅まきや雛あられ・甘酒などのおふるまいも行った。同日開催行事として「高床建物現場見学会」も実施。

- ①体験 ・ 竹雛飾りづくり (参加者数28名)
  - ・ 羽子板づくり (参加者数50名)
  - ・ お手玉雛飾り作り (参加者数29名)
  - ・ 棧俵作り (参加者数11名)
  - ・ お茶席 (参加者数102名)
  - ・ 勾玉作り (参加者数 約37名)
  - ・ 火おこし体験 (体験者数17名) 延べ274名
- ②雛あられ・甘酒のおふるまい

実績写真)



## 4 弥生のムラ くにさき古代祭り2018

参加者数約 2,500 名

本事業は、史跡公園として整備した弥生のムラ安国寺集落遺跡の公開と活用を促進し、この施設が地域に根ざしたまちづくりの拠点となるため実施するもので、古代の原風景を彷彿とさせる史跡の特性を活かした各種イベントを通して、市民の生涯学習や教育・文化の発展に寄与し、合わせて広く県の内外へ向けて情報発信を図ることを目的として実施。体験学習会や史跡の特性を活かしたステージイベント、地域の文化活動の展示発表、また国東市観光協会主催で国東市の海産物を用いた創作料理の発表「T-1 グランプリ」も開催した。

日 時：平成30年9月9日（日）午前9時～午後4時

内 容：《ステージ部門》午前10時45分～午後3時 土舞台

- ①オープニング 「ソレイユ」
- ②開会行事
- ③「別府大学エイサー」「むさしウィンドハーモニー」  
「鈴木利枝さんによる津軽三味線演奏」「くにさき夢めぐり」
- ④T-1 グランプリ発表

《飲食部門》 午前11時～午後2時30分

くにさきT-1 グランプリ・出店・弥生のムラお茶席

《体験部門》 午前 9時～午後3時

- |             |    |      |
|-------------|----|------|
| ①古代勾玉づくり体験  | 延べ | 220名 |
| ②古代火おこし体験   | 延べ | 107名 |
| ③古代とんぼ玉づくり  | 延べ | 182名 |
| ④お茶席        | 延べ | 220名 |
| ⑤たたら製鉄      | 延べ | 26名  |
| ⑥七島蘭のミサンガ作り | 延べ | 100名 |
| ⑦弓矢体験       | 延べ | 98名  |

《展示部門》

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ①古代かざら工芸講座生作品展 | ②古代とんぼ玉講座生作品展  |
| ③古代編物講座生作品展    | ④古代土器づくり講座生作品展 |
| ⑤講座講師作品展       | ⑥野の花展          |

実績写真)



## 6. 協議会・委員会

### 1) 国東市歴史体験学習館協議会

体験学習館の運営・事業に関する諮問機関であり、学識経験者をはじめ地元小学校長、弥生のムラ インストラクター等の代表者10名で構成されています。

本年度も当館主催事業には多数ご参加いただきました。また、協議会では、入館・体験者の増対策や事業の周知方法など、当館が取り組むべき課題に関して貴重なご意見をいただきました。

#### <国東市歴史体験学習館協議会委員>

職名	氏名	構成	住所
会長	郷司 信義	学識者・館協議会委員 弥生のムラ インストラクター協議会	国東町
副会長	岩光 治美	学識者・館協議会委員 弥生のムラ インストラクター協議会	武蔵町
委員	谷口 正宏	国見生涯学習センター館長	国見町
委員	岐部 準次	国東中央公民館長	国東町
委員	伊藤 英敏	安岐中央公民館長	安岐町
委員	西田 文代	弥生のムラ インストラクター協議会代表 館協議会委員	国東町
委員	松本 悦子	古代石がま料理講座・古代編物講座 講師 館協議会委員	国東町
委員	中野 茂	古代たたら製鉄講座 講師・館協議会委員 弥生のムラ インストラクター協議会	国東町
委員	下山 憲雄	地区区長代表 安国寺区長	国東町
委員	井手 俊郎	地元小学校長	国東町

#### <活動内容>

回	開催日	内容
1	7月24日	平成29年度事業報告・平成30年度事業計画
2	H31年 3月26日	平成30年度事業報告

### 3) 弥生のムラ・インストラクター協議会

この協議会は、当館のボランティアスタッフ（19名）で構成され、弥生のムラ・インストラクター養成講座やこれまでの生活で培った知識や技能、経験などを入館者に還元していただき、自らも充実した潤いのある豊かな生活を送る場として活動しています。本年度も、「弥生のムラ年中行事」や「くにさき古代祭り」をはじめ各四町のお祭りや団体の体験指導や館活動に積極的且つ主体的に取り組んでいただきました。また、県内外の先進地視察研修により見識が深められ、活動意欲の向上が図られました。

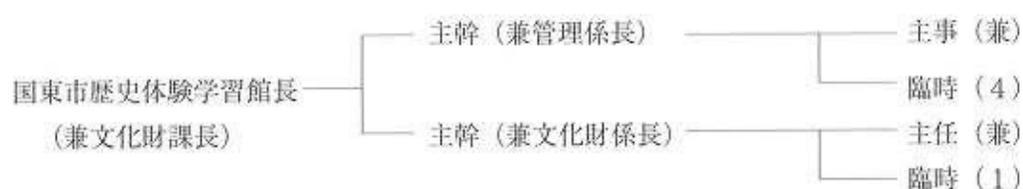
#### <弥生のムラ・インストラクター協議会会員>

No.	氏名	備考	No.	氏名	備考
1	西田 文代	会長	11	富重 光子	
2	仲村 文博	副会長	12	金田 信子	
3	郷司 信義		13	重吉 喜一郎	
4	郷司 紀代		14	岩光 治美	
5	宮脇 智恵子		15	中野 茂	
6	橋本 幸子		16	有馬 睦	
7	松原 久子		17	栗林 美恵子	
8	今井 洋治	監事	18	日隈 君子	
9	今井 スエ子		19	橋本 久徳	
10	末 房 静子	監事			

#### <活動内容>

回	活動日	内容
1	4月15日	平成30年度インストラクター協議会総会
2	5月 3日	年中行事 端午の節句（体験指導・運営補助）
3	6月17日	定例会
4	7月15日	定例会
5	8月19日	定例会
6	9月 9日	弥生のムラ くにさき古代祭り2018（体験指導）
7	10月21日	定例会
8	10月28日	夢咲きくにさきふるさと祭り スタッフ（体験指導）
9	11月 4日	安岐町ふるさと祭り スタッフ（体験指導）
10	11月18日	むさしおいで祭り（体験指導）
11	11月27日	インストラクター協議会視察研修（福岡県宗像市）
12	11月28日	◇
13	12月 9日	定例会
14	1月 6日	年中行事 七日正月（体験指導）
15	1月19日	定例会
16	2月 9日	定例会
17	2月24日	年中行事 雛節句（体験指導）
18	3月17日	定例会

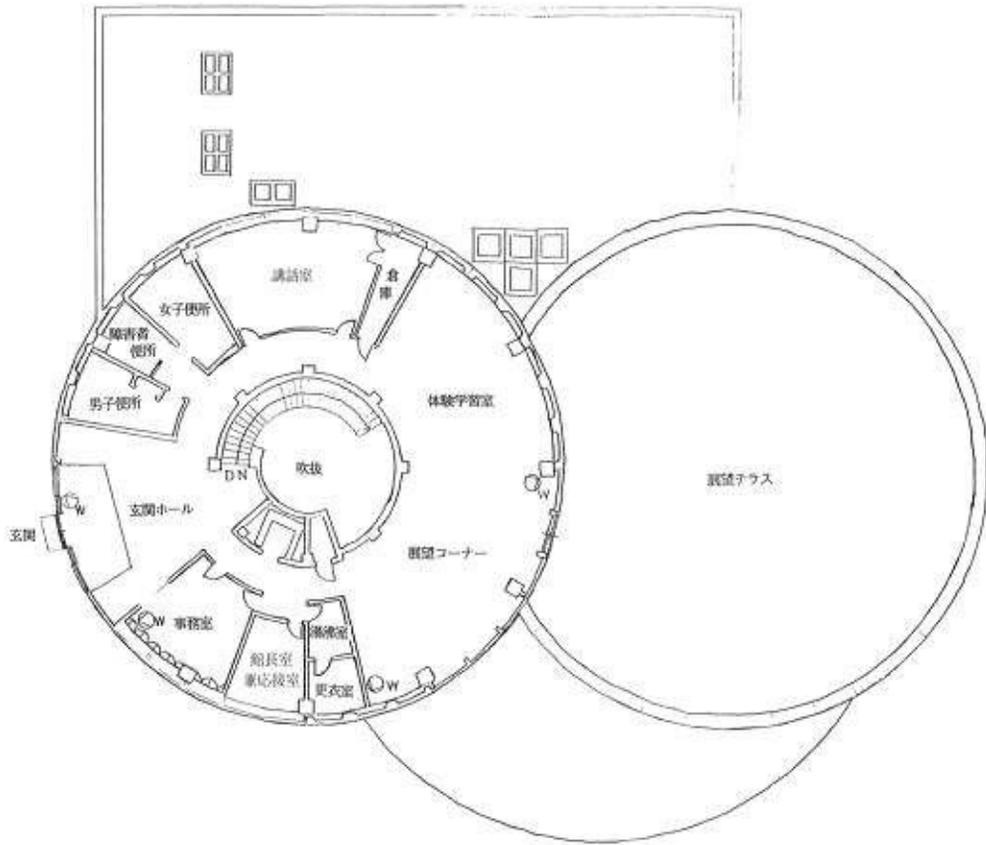
## V 館機構



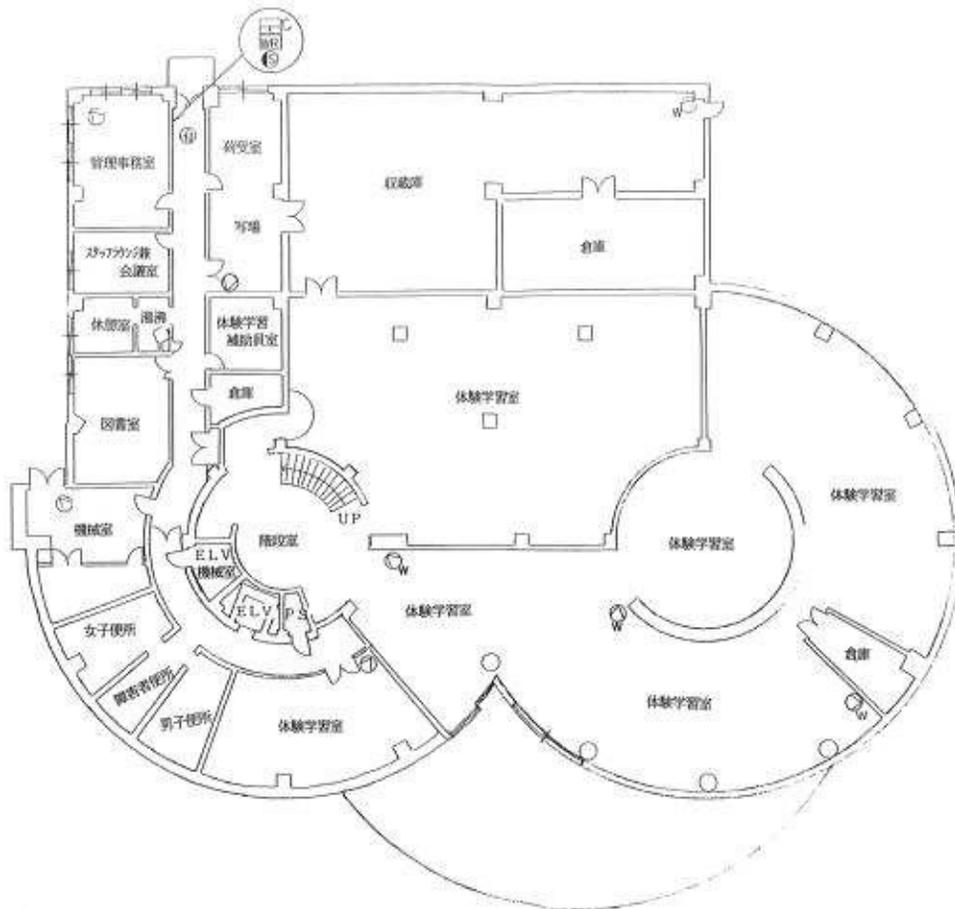
役職名	氏名	備考(有資格)
文化財課長 兼歴史体験学習館長 兼三浦梅園資料館長 兼六郷満山開山1300年誘客キャンペーン 実行委員会事務局長	吉田 隆一	社会教育主事
文化財課主幹兼管理係長 兼歴史体験学習館主幹	藤本 啓二	
文化財課文化財係長 兼歴史体験学習館主幹	神崎 哲也	社会教育主事
文化財課文化財主任 兼歴史体験学習館主任	園田 涼太	学芸員
文化財課管理係主事 兼歴史体験学習館主事	堀 真優菜	
歴史体験学習館 臨時職員	溝部 多加子	学芸員
歴史体験学習館 臨時職員	尾立 耕造	
歴史体験学習館 臨時職員	清原 順子	
歴史体験学習館 臨時職員	田口 友恵	
歴史体験学習館 臨時職員	坪井 重樹	学芸員

## VI 施設の概要

敷地面積			
・指定地	約20,600㎡		
・隣接地	約22,500㎡	計	43,100㎡
体験学習館	1棟（鉄筋コンクリート造二階建て		2,099㎡）
発掘体験舎	1棟（鉄骨造鋼板葺き平屋建て		346㎡）
高床建物			
・住居	4棟（木造茅葺平屋建て		45.33㎡）
・倉庫	4棟（木造茅葺平屋建て		20.86㎡）
・集会施設	1棟（木造茅葺平屋建て		8.46㎡）
竪穴住居			
・丸形	2棟（木造茅葺平屋建て		74.6㎡）
・方形	2棟（木造茅葺平屋建て		51.8㎡）
水田	3枚		（90㎡×3枚270㎡）
生産広場	1ヶ所		380㎡
土舞台	1ヶ所（土舗装）		300㎡
弥生のはらっぱ	1ヶ所（張り芝）		3,500㎡
弥生の広場	1ヶ所（張り芝）		3,550㎡
弥生のせせらぎ	1ヶ所		48m
大溝			3,375㎡
弥生の森（遺跡出土種子を主とした樹木等の植栽）			
入館料等	・公園	無料	
	・歴史体験学習館	大人200円、子ども（小・中学生）100円 （20名以上団体 大人150円・子ども50円）	
開館時間	午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）		
休館日	月曜日及び祝日の翌日（土・日曜日を除く）、12月29日～1月4日		

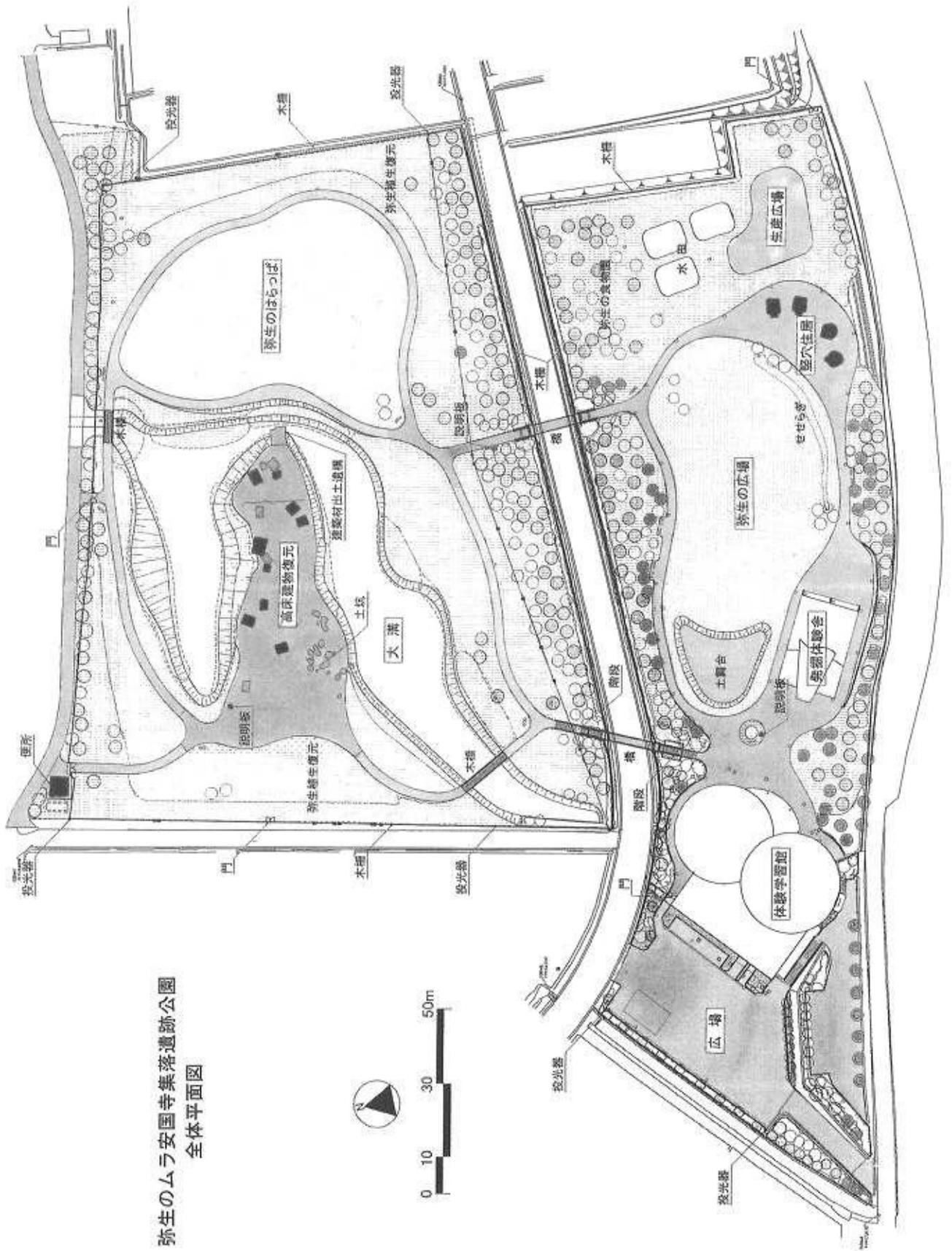


2F



1F

弥生のムラ安国寺集落遺跡公園  
全体平面図



## Ⅶ 平成30年度入館者・体験者数

### 国東市歴史体験学習館入館者数一覧

月	有 料						無 料						月計 (人)	
	個 人			団 体			小計 (人)	免 除			幼児	館利用者		小計
	大人	小人	計	大人	小人	計		大人	小人	計				
4月	134	10	144	0	0	0	144	0	0	0	5	605	610	754
5月	234	43	277	20	0	20	297	53	0	53	8	862	923	1,220
6月	104	5	109	30	17	47	156	34	41	75	3	350	428	584
7月	105	31	136	122	76	198	334	51	18	69	29	363	461	795
8月	126	54	180	7	39	46	226	35	109	144	9	393	546	772
9月	128	16	144	0	0	0	144	16	0	16	4	2,714	2,734	2,878
10月	227	7	234	119	0	119	353	64	0	64	2	407	473	826
11月	276	17	293	232	0	232	525	69	0	69	10	491	570	1,095
12月	75	5	81	0	0	0	81	0	0	0	0	264	264	345
1月	63	0	63	0	0	0	63	1	0	1	0	492	493	556
2月	86	6	92	96	0	96	188	11	33	44	2	591	637	825
3月	110	25	135	0	0	0	135	0	0	0	2	465	467	602
合計	1,669	219	1,888	626	132	758	2,646	334	201	535	74	7,997	8,606	11,252

### 国東市歴史体験学習館体験者数一覧

内訳 月	勾玉	琥珀	火おこし	火おこし 道具	鑄造		土器		編布 (染色含む)	機織り 機	かすら	とんぼ玉	古代食	石がま (火鉢)	発掘	弓矢	土笛	合計 (人)	
					銅鑄	銅鑄	野焼陶土	セラミ社											
4月	19	2	10	0	1	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	40
5月	150	1	31	0	3	4	0	0	0	0	0	26	0	28	0	0	0	6	249
6月	74	0	24	0	1	0	10	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	115
7月	150	1	97	1	11	5	0	0	0	1	0	6	0	0	0	0	0	0	272
8月	201	2	116	1	4	3	21	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	38	392
9月	372	4	116	5	3	9	2	0	0	0	0	182	0	0	0	98	2	793	
10月	58	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2	31	15	39	150	
11月	117	10	17	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	160	
12月	15	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	6	49	
1月	11	0	38	0	2	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71	
2月	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11	
3月	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	
年間合計	1,193	20	439	7	30	67	33	0	0	9	0	214	0	56	31	113	109	2,321	

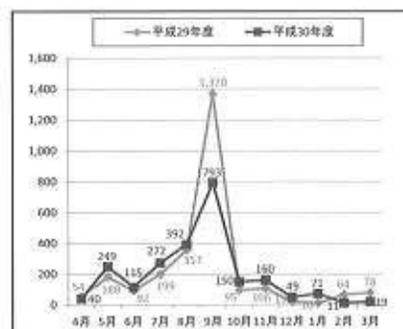
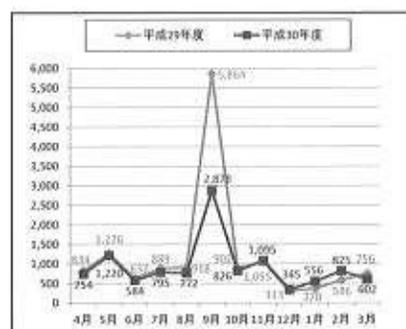
### 平成29年度・30年度 利用者比較表

#### 入館者比較

平成29年度		平成30年度	
入館者数		入館者数	
4月	834	4月	754
5月	1,276	5月	1,220
6月	637	6月	584
7月	889	7月	795
8月	918	8月	772
9月	5,864	9月	2,878
10月	902	10月	826
11月	1,055	11月	1,095
12月	313	12月	345
1月	370	1月	556
2月	586	2月	825
3月	756	3月	602
合計	14,400	合計	11,252

#### 体験者比較

平成29年度		平成30年度	
体験者数		体験者数	
4月	54	4月	40
5月	180	5月	249
6月	92	6月	115
7月	199	7月	272
8月	357	8月	392
9月	1,370	9月	793
10月	95	10月	150
11月	106	11月	160
12月	19	12月	49
1月	10	1月	71
2月	64	2月	11
3月	78	3月	19
合計	2,624	合計	2,321



# Ⅷ 国東市歴史体験学習館条例・規則

## 国東市歴史体験学習館条例

平成18年3月31日  
条例第117号

改正 平成21年3月23日条例第19号  
平成24年3月23日条例第18号

(設置)

**第1条** 史跡安国寺集落遺跡の保存及び活用を図るとともに、市民にこれと親しむ場を提供し、もって教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、歴史体験学習館を設置する。

(名称及び位置)

**第2条** 歴史体験学習館の名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 国東市歴史体験学習館
- (2) 位置 国東市国東町安国寺1639番地2(構成)

**第3条** 国東市歴史体験学習館(以下「体験学習館」という。)は、体験学習施設及び弥生のムラ安国寺集落遺跡(以下「弥生のムラ」という。)をもって構成し、次に掲げる施設を置く。

- (1) 体験学習施設 学習館及び発掘体験舎
- (2) 弥生のムラ 復元建物広場、生産広場、土舞台その他必要な施設(管理)

**第4条** 体験学習館は、国東市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理する。

(事業)

**第5条** 体験学習館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 史跡安国寺集落遺跡及びその周辺地域の環境を保全し、及び活用すること。
- (2) 国東市及び周辺地域に関する歴史資料、考古資料、民俗資料等(以下「歴史資料等」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- (3) 古代の人々の歴史、生活及び文化に触れる体験学習の実施に関すること。
- (4) 歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (5) 歴史資料等に関する知識の普及及び啓発に関すること。
- (6) 学校、図書館、公民館その他教育、学術又は文化に関係する諸施設との協力及びその活動の援助に関すること。
- (7) 前各号に掲げる事業のほか、体験学習館の目的を達成するために必要な事業

(職員)

**第6条** 体験学習館に、館長その他必要な職員を置く。

(利用の申込み等)

**第7条** 体験学習館(弥生のムラを除く。)を利用しようとする者は、受付で口頭により利用を申し込まなければならない。

2 弥生のムラを利用しようとする者は、利用しようとする日の10日前までに館長の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

3 館長は、弥生のムラの管理上必要があると認めるときは、前項の許可に条件を付することができる。

(行為の制限等)

**第8条** 体験学習館において、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、第4号及び第5号に掲げる行為については、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

- (1) 酒気を帯び、又は暴力を振るう等他人に迷惑を及ぼす行為
- (2) 危険物、動物その他他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる物を持ち込むこと。
- (3) 定められた場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用すること。
- (4) 宣伝、物品の販売、募集その他これらに類する行為をすること。
- (5) 体験学習館の資料を模写し、又は撮影すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、館長が、体験学習館の管理上必要を認めて禁止する行為

2 館長は、前項の規定に違反した者に対して、退去を命ずることができる。

(利用許可の取消)

**第9条** 館長は、弥生のムラの利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が、次の各号のいずれかに該当するときは、当該許可を取り消し、行為の中止、原状回復及び施設からの退去を命ずることができる。

- (1) 偽りその他不正の行為により利用の許可を受けたとき。
- (2) 公の秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げる場合のほか、館長が必要と認めるとき。

2 前項の措置によって利用者が受けた損失については、市は、賠償の責めを負わない。

(使用料)

**第10条** 体験学習施設を利用しようとするものは、別表に定める使用料を納付しなければならない。

(使用料の減免)

**第11条** 市長は、必要があると認めるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の不還付)

**第12条** 既に徴収した使用料は、還付しない。ただし、相当の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償の義務)

**第13条** 体験学習館の資料及び施設を損傷し、又は滅失した者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(協議会)

**第14条** 体験学習館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、体験学習館の行う事業等について館長に対して意見を述べるため、法第20条の規定により、体験学習館に国東市歴史体験学習館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会は、委員10人以内をもって組織する。
- 3 委員の任期は、2年とし、再任は妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、教育委員会が任命する。

(平成24条例18・一部改正)

(委任)

**第15条** この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(過料)

**第16条** 詐欺その他不正の行為により、この条例に定める使用料の徴収を免れた者については、その免れた金額の5倍に相当する金額(当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。)以下の過料に処する。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年3月31日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)の前日までに、合併前の国東町歴史体験学習館の設置及び管理に関する条例(平成13年国東町条例第6号。以下「合併前の条例」という。)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。
- 3 施行日の前日までの利用許可に係る合併前の条例の規定による使用料については、なお合併前の条例の例による。
- 4 施行日の前日までにした行為に対する罰則の適用については、なお合併前の条例の例による。

附 則(平成21年3月23日条例第19号)

この条例は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月23日条例第18号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表(第10条関係)

(平成21条例19・全改)

体験学習施設使用料

使用料の名称	区 分	単 位	金 額	備 考	
一般観覧料	常設展示	個人 一般・大学生・高校生	1人 1回	200円	1 「一般・大学生・高校生」とは、大人、大学の学生、高等専門学校、高等学校の生徒及びこれらに準ずる者をいう。 2 「中学生・小学生」とは、中学校の生徒、小学校の児童及びこれらに準ずる者をいう。 3 「団体」とは、20人以上のものをいう。 4 個人会員及び家族会員の有効期間は、年間観覧料の納付の日から起算して1年間とする。 5 家族会員には、本人を含む家族を5名まで登録することができる。
		個人 中学生・小学校	☆	100円	
	団体	一般・大学生・高校生	☆	150円	
		中学生・小学校	☆	50円	
	特別展示	個人	☆	その都度市長が定める額	
		個人 中学生・小学校	☆		
年間観覧料	及び特別展示	個人 個人会員	1人 1年間	1,000円	
		個人 家族会員	1家族 1年間	1,000円	

注 体験学習に係る原材料費等の経費は、利用者負担とする。

## 国東市歴史体験学習館条例施行規則

(平成18年3月31日  
教育委員会規則第30号)

目次

- 第1章 総則(第1条)
- 第2章 組織(第2条—第6条)
- 第3章 運営(第7条—第19条)
- 第4章 国東市歴史体験学習館協議会(第20条—第22条)
- 第5章 雑則(第23条)

附 則

第1章 総則

(趣旨)

**第1条** この規則は、国東市歴史体験学習館条例(平成18年国東市条例第117号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

## 第2章 組織

(係の設置)

第2条 国東市歴史体験学習館（以下「体験学習館」という。）に管理係及び学芸調査係を置く。

(分掌事務)

第3条 管理係においては、次の事務をつかさどる。

- 1 公印の保管に関すること。
- 2 文書の収受、発送、編集及び保存に関すること。
- 3 職員の仕事及び職務に関すること。
- 4 予算の執行等に関すること。
- 5 国東市歴史体験学習館協議会に関すること。
- 6 関係機関及び関係団体との連絡調整に関すること。
- 7 施設及び設備（史跡公園安国寺集落遺跡を含む。）の維持管理に関すること。
- 8 施設及び設備の利用に関すること。
- 9 前各号に掲げるもののほか、学芸調査係の所掌に属さない事項に関すること。

2 学芸調査係においては、次の事務をつかさどる。

- 1 歴史資料、考古資料、民俗資料等（以下「歴史資料等」という。）の収集、整理及び保管に関すること。
- 2 体験学習の企画及び実施に関すること。
- 3 常設展示及び特展別荘の企画及び実施に関すること。
- 4 史跡公園安国寺集落遺跡の保全及び活用に関すること。
- 5 歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- 6 歴史、考古、民俗等（以下「歴史等」という。）についての講演会、講習会及び研究会の開催に関すること。
- 7 市民の歴史等に関する調査研究活動の援助に関すること。
- 8 学校、図書館、公民館等の諸施設に対する歴史等についての協力及び活動の援助に関すること。
- 9 歴史資料等についての案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の刊行に関すること。

(職員の職)

第4条 体験学習館の職員の職として、次の職を置く。

- 1 館長
- 2 副館長
- 3 係長
- 4 学芸員
- 5 研究員
- 6 主査、主任又は主事
- 7 指導員
- 8 管理員

(職員の職務)

第5条 館長は、上司の命を受け、体験学習館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

- 2 副館長は、館長を補佐し、体験学習館の事務を処理する。
- 3 係長は、上司の命を受け、係の事務を処理する。
- 4 学芸員及び研究員は、上司の命を受け、体験学習の企画及び実施に関する事務並びに歴史資料の収集、保管、展示その他これと関連する専門的業務並びに歴史資料等の調査研究及び教育啓発に関する事務を処理する。
- 5 主査、主任及び主事は、上司の命を受け、事務に従事する。
- 6 指導員は、上司の命を受け、体験学習の指導に従事する。
- 7 管理員は、上司の命を受け、体験学習館の管理に従事する。

(職員数)

第6条 職員の数は、別に定める。

## 第3章 運営

(開館時間)

第7条 体験学習館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、体験学習館を利用しようとする者が入館できる時間は、午後4時30分までとする。

(休館日)

第8条 体験学習館施設の休館日は、次のとおりとする。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、教育長の承認を受けてこれを変更し、又は臨時に休館することができる。

- 1 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる場合は、その日後において、その日に最も近い休日でない日（土曜日及び日曜日を除く。）
  - 2 休日の翌日（その日が休日に当たる場合は、その日後において、その日に最も近い休日でない日（土曜日及び日曜日を除く。）
  - 3 12月29日から翌年の1月4日までの日（前2号に掲げる日を除く。）
  - 4 特別整理期間として、年間30日以内で館長が定める日
- 2 弥生のムラは、12月29日から翌年の1月4日までの間は閉館するものとする。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、教育長の承認を受けてこれを変更し、又は臨時に閉館することができる。

(利用の許可の申請)

第9条 条例第7条第2項の規定により弥生のムラの利用の許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、弥生のムラ利用許可申請書（様式第1号）を館長に提出しなければならない。

2 前項に規定する利用の許可の申請は、利用しようとする日の3箇月前からすることができる。

(利用許可書の交付)

第10条 館長は、弥生のムラの利用を許可したときは、弥生のムラ利用許可書（様式第2号）を申請者に交付する。

(利用者の遵守事項)

第11条 利用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- 1 関係職員の指示に従うこと。
- 2 体験学習館における秩序の保持・保全に万全を期すこと。

(利用者の義務)

第12条 利用者は、各施設、展示品等を汚損し、又は損傷したときは、直ちに館長に報告し、汚損・損傷の届出書（様式第3号）を提出しなければならない。

2 市長は、前項の届出があったときは、損害の賠償を求めることができる。

(使用料の納期)

第13条 利用者は、入館の際に条例第10条に規定する使用料を納付しなければならない。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、館長の指定するまでに納付することができる。

(歴史資料等の閲覧)

第14条 館長は、調査研究に供するため必要と認めるときは、次に掲げる場合を除き、歴史資料等を閲覧させることができる。

- 1 歴史資料等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるとき。
- 2 歴史資料等が展示されているとき。
- 3 前2号に掲げる場合のほか、館長が不適当と認めるとき。

2 歴史資料等の閲覧を受けようとするものは、歴史資料等閲覧申請書（様式第4号）により館長に閲覧の許可を申請し、その許可を受けなければならない。

(歴史資料等の館外貸出し)

第15条 歴史資料等は、館外貸出しを行わないものとする。ただし、博物館、図書館、学校その他のもので館長が適当と認めるものについては、この限りでない。

2 歴史資料等の館外貸出しを受けようとする者は、歴史資料等館外貸出申請書（様式第5号）により館長に館外貸出しの許可の申請をしなければならない。

3 前項に規定する申請があった場合は、館長は、その適否を審査し、適当と認めるときは、歴史資料等館外貸出許可書（様式第6号）を当該申請した者に交付し、館外貸出しを許可するものとする。

(歴史資料等の寄贈等)

第16条 体験学習館に歴史資料等を寄贈しようとする者は、別に定めるところにより、館長に申し出るものとする。

(歴史資料等の寄託)

第17条 体験学習館に歴史資料等を寄託しようとする者は、別に定めるところにより、館長に申し出るものとする。

(使用料の減免の申請)

第18条 使用料の減額又は免除を受けようとする者は、あらかじめ学芸館使用料減免申請書（様式第7号）を市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の申請を承認したときは、学芸館使用料減免決定通知書（様式第8号）を交付する。

(使用料の還付の申請)

第19条 条例第12条ただし書の規定により使用料の還付を受けようとする者は、学芸館使用料還付申請書（様式第9号）を市長に提出しなければならない。

## 第4章 国東市歴史体験学習館協議会

(会長及び副会長)

第20条 国東市歴史体験学習館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、協議会の委員の互選による。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第21条 会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第22条 協議会の庶務は、体験学習館において処理する。

## 第5章 雑則

(その他)

第23条 この規則に定めるもののほか、体験学習館の運営等に関し必要な事項は、館長が定める。

## 附則

(施行期日)

1 この規則は、平成18年3月31日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の国東市歴史体験学習館管理運営規則（平成13年国東市教育委員会規則第8号）の規定によりなされた手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされたものとみなす。

附則（平成19年2月19日教委規則第39号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

## Ⅸ 収蔵資料

### 1) 平成 30 年度寄贈図書団体

寄贈番号	書籍名	寄贈者	受入年月	30年度	備考
12194	国立歴史民俗博物館研究報告第 209 集	国立歴史民俗博物館	H30.4	1	
12195	「市内遺跡」延岡市文化財調査報告書第 58 集	延岡市教育委員会	H30.4	2	
12196	「延岡城三階櫓跡(延岡城第 30 次調査)」延岡市文化財調査報告書第 59 集	延岡市教育委員会	H30.4	3	
12197	多久市文化財調査報告書 第 58 集 多久市内遺跡発掘調査報告書(9)平成 27 年度～28 年度の調査	多久市教育委員会	H30.4	4	
12198	松浦市文化財調査報告書 第 8 集 松浦市内遺跡確認調査(5)	松浦市教育委員会	H30.4	5	
12199	雲仙市文化財調査報告書 第 17 集	雲仙市教育委員会	H30.4	6	
12200	港郷土資料館報 - 35 - 平成 28 年度版	港区立郷土資料館	H30.4	7	
12201	「船入遺跡」熊本県合志市文化財調査報告書第 3 集	合志市教育委員会	H30.4	8	
12202	都城市文化財調査報告書 第 133 集 松原地区遺跡(第 7 次調査)	都城市教育委員会	H30.4	9	
12203	喜界町埋蔵文化財発掘調査報告書(15)「中増遺跡 I」	喜界町教育委員会	H30.4	10	
12204	「弥生時代の吉野ヶ里-ムラからクニへ」	佐賀県立博物館	H30.4	11	
12205	年報「平成 28 年度 福岡市美術館 活動の記録」	福岡市美術館	H30.4	12	
12206	研究紀要「福岡市美術館研究紀要 第 6 号」	福岡市美術館	H30.4	13	
12207	対馬の盆踊	対馬市教育委員	H30.4	14	DVD有
12208	「山口大学埋蔵文化財資料館年報 11 - 平成 25 年度 -」	山口大学埋蔵文化財資料館	H30.4	15	
12209	広報誌「てらこや埋文 第 28 号」	山口大学埋蔵文化財資料館	H30.4	16	
12210	民具研究 第 157 号 2018 年 3 月	日本民具学会	H30.4	17	
12211	始良市文化財調査報告書 第 7 集 始良市内遺跡発掘調査報告書 - 平成 28 年～29 年度市内遺跡発掘調査等報告書 -	始良市教育委員会	H30.4	18	
12212	「第 95 回企画展 織田信長と上野国」展示図録	群馬県立歴史博物館	H30.4	19	
12213	大分県先哲叢書「田原 淳資料集」	大分県立先哲史料館	H30.4	20	
12214	等妙寺旧境内災害復旧事業報告書	鬼北町教育委員会	H30.4	21	
12215	鳥取市文化財調査報告書第 25 集 倭文 6 号墳出土遺物の研究	鳥取市教育委員会	H30.4	22	
12216	鳥取市文化財調査報告書第 26 集 平成 29 (2017) 年度 鳥取市内遺跡発掘調査概要報告書	鳥取市教育委員会	H30.4	23	
12217	鳥取市文化財調査報告書第 27 集 史跡鳥取城跡附太閤ヶ平発掘調査報告書Ⅳ	鳥取市教育委員会	H30.4	24	
12218	威信の舞台 よみがえる大友館	大分市歴史資料館	H30.4	25	
12219	日本民俗学 293	日本民具学会	H30.4	26	
12220	研究紀要第 24 号・千葉いまむかし 31 号	千葉市立郷土博物館	H30.4	27	
12221	臼杵の古墳	臼杵市教育委員会	H30.4	28	
12222	国立歴史民俗博物館研究報告第 210 集	国立歴史民俗博物館	H30.4	29	
12223	「森園遺跡 4」大野城市文化財調査報告書 155 集	大野城市教育委員会	H30.4	30	
12224	「乙金地区遺跡群 20」大野城市文化財調査報告書 156 集	大野城市教育委員会	H30.4	31	
12225	「乙金地区遺跡群 21」大野城市文化財調査報告書 157 集	大野城市教育委員会	H30.4	32	上・下巻
12226	「乙金地区遺跡群 22」大野城市文化財調査報告書 158 集	大野城市教育委員会	H30.4	33	
12227	「乙金地区遺跡群 23」大野城市文化財調査報告書 159 集	大野城市教育委員会	H30.4	34	上・中・下巻
12228	「上園遺跡 6」大野城市文化財調査報告書 160 集	大野城市教育委員会	H30.4	35	
12229	「村上遺跡 5」大野城市文化財調査報告書 161 集	大野城市教育委員会	H30.4	36	
12230	「牛頸野添遺跡 6」大野城市文化財調査報告書 162 集	大野城市教育委員会	H30.4	37	
12231	「薬師の森遺跡 4」大野城市文化財調査報告書 163 集	大野城市教育委員会	H30.4	38	
12232	「石勺遺跡 7」大野城市文化財調査報告書 164 集	大野城市教育委員会	H30.4	39	
12233	「村下遺跡 4」大野城市文化財調査報告書 165 集	大野城市教育委員会	H30.4	40	
12234	「上園遺跡 7」大野城市文化財調査報告書 166 集	大野城市教育委員会	H30.4	41	
12235	「京塚遺跡 1」大野城市文化財調査報告書 167 集	大野城市教育委員会	H30.4	42	
12236	「雑餉隈遺跡」大野城市文化財調査報告書 169 集	大野城市教育委員会	H30.4	43	
12237	「大野城市の文化財第 48 集」	大野城市教育委員会	H30.4	44	
12238	東京都港区「旗本妻木家屋敷跡遺跡発掘調査報告書」	株式会社四門	H30.4	45	
12239	国立歴史民俗博物館研究報告第 211 集	国立歴史民俗博物館	H30.5	46	
12240	小城市文化財調査報告書 第 37 集 「小城陣屋跡 1 区」	小城市教育委員会	H30.5	47	
12241	小城市文化財調査報告書 第 38 集 「滝遺跡 2 区」	小城市教育委員会	H30.5	48	
12242	小城市文化財調査報告書 第 39 集 「小城市内遺跡 8」	小城市教育委員会	H30.5	49	

寄贈番号	書籍名	寄贈者	受入年月	30年度	備考
12243	中津市文化財調査報告書第86集 市内遺跡発掘調査概報 11	中津市教育委員会	H30.5	50	
12244	平成三十年五月 和の史 第二百五十七号	思文閣出版古書部	H30.5	51	
12245	長野県安曇野市穂高古墳群 F9 号墳 2015 年度発掘調査報告書	國學院大學文学部考古学研究室	H30.5	52	
12246	『陣箱遺跡 第3次調査区』	豊後大野市歴史民俗資料館	H30.5	53	
12247	『豊後大野市内遺跡発掘調査発掘概要報告書 8』	豊後大野市歴史民俗資料館	H30.5	54	
12248	大分方言談話の配慮表現を中心とした地域・世代別・性差の研究	別府大学文学部	H30.5	55	長期継続
12249	「埋蔵文化財の活用と地域研究」	大分県教育庁文化課	H30.5	56	
12250	「水中遺跡保護の在り方について - 資料編 2 -」	大分県教育庁文化課	H30.5	57	3部
12251	「国史跡 安徳大塚古墳保存活用計画」	那珂川町教育委員会	H30.5	58	
12252	高原町文化財調査報告書 第17集 井之原遺跡	高原町教育委員会	H30.5	59	
12253	『角田3』柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第90集	柏崎市教育委員会	H30.5	60	
12254	『柏崎市の遺跡 27』柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第91集	柏崎市教育委員会	H30.5	61	
12255	『軽井川南遺跡群 V』柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第91集	柏崎市教育委員会	H30.5	62	
12256	下関文化財調査報告書報告書 45 『勝山御殿跡 調査成果報告書』 勝山御殿跡 勝山地区公園整備事業に伴う確認調査成果および公園整備工事内容報告	下関市教育委員会	H30.5	63	
12257	下関市埋蔵文化財年報 9 - 平成 28 (2016) 年度の記録 -	下関市教育委員会	H30.5	64	
12258	『太宰府市の文化財』第133集	太宰府市教育委員会	H30.5	65	
12259	『文化財名選』	太宰府市教育委員会	H30.5	66	
12260	第52回全国史跡整備市町村協議会大会議事録	全国史跡整備市町村実行委員会事務局	H30.6	67	
12261	『小松市内遺跡発掘調査報告書Ⅷ』	小松市埋蔵文化財センター	H30.6	68	
12262	『矢田新遺跡』	小松市埋蔵文化財センター	H30.6	69	
12263	『訓読豊後国志』	竹田市教育委員会	H30.6	70	
12264	『平原池ノ上遺跡』直方市文化財調査報告書 第47集	直方市教育委員会	H30.6	71	
12265	『羽高東横穴墓群・五穀神社遺跡』直方市文化財調査報告書 第49集	直方市教育委員会	H30.6	72	
12266	山形市埋蔵文化財調査年報 (平成 27 年度)	山形市教育委員会	H30.6	73	
12267	山形市埋蔵文化財調査年報 (平成 28 年度)	山形市教育委員会	H30.6	74	
12268	史跡山形城跡発掘調査報告書	山形市教育委員会	H30.6	75	
12269	関西大学博物館紀要第24号	関西大学博物館	H30.6	76	
12270	阡陵 No.76	関西大学博物館	H30.6	77	
12271	山本竟山の書と学問 図録	関西大学博物館	H30.6	78	
12272	萩市埋蔵文化財調査報告書 第10集 史跡萩城(東園)	萩市観光政策部文化財保護課	H30.6	79	
12273	『熊本大学埋蔵文化財調査センター年報 23 - 2016 年度 -』	熊本大学埋蔵文化財調査センター	H30.6	80	
12274	『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅷ』	熊本大学埋蔵文化財調査センター	H30.6	81	
12275	『筑後市内遺跡群 X VI』	筑後市教育委員会	H30.6	82	
12276	『山ノ井川口遺跡』	筑後市教育委員会	H30.6	83	
12277	『歳教西野屋敷遺跡Ⅱ』	筑後市教育委員会	H30.6	84	
12278	『歳教長原山遺跡』	筑後市教育委員会	H30.6	85	
12279	『若菜北原遺跡Ⅱ』	筑後市教育委員会	H30.6	86	
12280	埋蔵文化財ニュース No.170	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所	H30.6	87	
12281	埋蔵文化財ニュース No.171	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所	H30.6	88	
12282	埋蔵文化財ニュース No.172	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所	H30.6	89	
12283	埋蔵文化財ニュース No.173	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所	H30.6	90	
12284	『全国協会 2018』	全国史跡整備市町村協議会 事務局	H30.6	91	
12285	『愛比売』平成 29 年度年報	(公財)愛媛県埋蔵文化財センター	H30.6	92	
12286	『紀要愛媛』第14号	(公財)愛媛県埋蔵文化財センター	H30.6	93	
12287	市内遺跡発掘調査	上越市教育委員会	H30.6	94	
12288	『井出ヶ浦窯跡Ⅱ』飯塚市文化財調査報告書 第52集	飯塚市教育委員会	H30.6	95	
12289	『郷ノ原遺跡 2』飯塚市文化財調査報告書 第53集	飯塚市教育委員会	H30.6	96	
12290	『羅漢寺調査報告書Ⅱ 羅漢寺及び周辺地域の石造物調査 -』	中津市教育委員会	H30.6	97	
12291	中津市文化財調査報告書第83集 沖代地区条理跡 45 次	中津市教育委員会	H30.6	98	
12292	中津市文化財調査報告書第84集 法垣遺跡	中津市教育委員会	H30.6	99	
12293	中津市文化財調査報告書第85集 三口遺跡	中津市教育委員会	H30.6	100	

寄贈番号	書籍名	寄贈者	受入年月	30年度	備考
12294	中津市文化財調査報告書第87集 中津城下町遺跡29・31次	中津市教育委員会	H30.6	101	
12295	中津市文化財調査報告書第66集 諸田遺跡・諸田南遺跡(図版編)	中津市教育委員会	H30.6	102	
12296	中津市文化財調査報告書第76集 諸田遺跡・諸田南遺跡(遺物編)	中津市教育委員会	H30.6	103	
12297	中津市文化財調査報告書第88集 諸田遺跡・諸田南遺跡(遺構編)	中津市教育委員会	H30.6	104	
12298	中津市文化財調査報告書第89集 定留遺跡赤松地区	中津市教育委員会	H30.6	105	
12299	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告第59集 平成28年度市内遺跡確認調査報告書	指宿市教育委員会	H30.6	106	
12300	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告第60集 指宿駅西部土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書Vol2	指宿市教育委員会	H30.6	107	
12301	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告第61集 平成29年度市内遺跡確認調査報告書	指宿市教育委員会	H30.6	108	
12302	日本民俗学 294	日本民具学会	H30.6	109	
12303	平成29年度調査研究事業「公共文化施設の利用状況に関する調査研究」報告書	一般財団法人地域	H30.6	110	
12304	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告書 B類 歴史 第15号	北九州市立自然史・歴史博物館	H30.6	111	
12305	最後の戦国武将 小倉藩主 小笠原忠真	北九州市立自然史・歴史博物館	H30.6	112	
12306	王寺町文化財調査報告書 第13集「西安寺跡第5次・6次発掘調査報告書」	王寺町教育委員会	H30.6	113	
12307	栗東市埋蔵文化財調査報告書2016(平成28)年度 年報(栗東市 話題の発掘調査「はくつ2017」栗東市話題の発掘調査 1部)	公益財団法人栗東市体育協会	H30.7	114	
12308	豊前市文化財調査報告書 第41集 中村屋敷田遺跡 松江炭山遺跡	豊前市教育委員会	H30.7	115	
12309	豊前市文化財調査報告書 第42集 岸井野入遺跡 久路土門田遺跡	豊前市教育委員会	H30.7	116	
12310	アーカイブズ講座 報告書V 合馬家棟下張文書	中津市教育委員会	H30.7	117	
12311	平成三十年七月 和の史 第二百五十八号	思文閣出版古書部	H30.7	118	
12312	九州歴史資料館 研究論集 43	九州歴史資料館	H30.7	119	
12313	東京都江戸東京博物館紀要 第8号	東京都江戸東京博物館	H30.7	120	
12314	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(192)「鞍曲遺跡」	鹿児島県立埋蔵文化財センター	H30.7	121	
12315	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(193)「牧野遺跡」	鹿児島県立埋蔵文化財センター	H30.7	122	
12316	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(194)「豊後大塚遺跡-根古原台遺跡-大塚白土工塚跡」	鹿児島県立埋蔵文化財センター	H30.7	123	
12317	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(195)「山ノ口遺跡」	鹿児島県立埋蔵文化財センター	H30.7	124	
12318	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(196)「河内山館山跡」	鹿児島県立埋蔵文化財センター	H30.7	125	
12319	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(197)「虎居城跡」	鹿児島県立埋蔵文化財センター	H30.7	126	
12320	公益財団法人鹿児島県文化振興埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書(17)「永志天神段遺跡3 第2地点2」	鹿児島県立埋蔵文化財センター	H30.7	127	
12321	公益財団法人鹿児島県文化振興埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書(18)「天神段遺跡3」	鹿児島県立埋蔵文化財センター	H30.7	128	新刊-新刊
12322	公益財団法人鹿児島県文化振興埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書(19)「天神段遺跡4」	鹿児島県立埋蔵文化財センター	H30.7	129	新刊-新刊
12323	公益財団法人鹿児島県文化振興埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書(20)「阿田塚遺跡2」	鹿児島県立埋蔵文化財センター	H30.7	130	
12324	大分県立美術館 年報 平成28年度	大分県立美術館	H30.7	131	
12325	大分県立美術館 研究紀要 第2号	大分県立美術館	H30.7	132	
12326	博物館年報 平成29年度 No.23	玉名市立歴史博物館こころピア	H30.7	133	
12327	神奈川大学日本常民文化研究所 2018-20 要覧	神奈川大学日本常民文化研究所	H30.7	134	
12328	「民具マンスリー」51巻1号	神奈川大学日本常民文化研究所	H30.7	135	
12329	「民具マンスリー」51巻2号	神奈川大学日本常民文化研究所	H30.7	136	
12330	「民具マンスリー」51巻3号	神奈川大学日本常民文化研究所	H30.7	137	
12331	「民具マンスリー」51巻4号	神奈川大学日本常民文化研究所	H30.7	138	
12332	「泉南市遺跡群発掘調査報告書」XXXV	泉南市教育委員会	H30.7	139	
12333	「信達神社歴史的建造物調査報告書」	泉南市教育委員会	H30.7	140	
12334	国立歴史民俗博物館要覧 2018年度	国立歴史民俗博物館	H30.7	141	
12335	「大分県内遺跡発掘調査概要 21」	大分県埋蔵文化財センター	H30.7	142	
12336	「大分県立埋蔵文化財センター研究紀要 1」	大分県埋蔵文化財センター	H30.7	143	
12337	「清水遺跡2次発掘調査報告書」大分県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第1集	大分県埋蔵文化財センター	H30.7	144	
12338	「山迫遺跡」大分県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第2集	大分県埋蔵文化財センター	H30.7	145	
12339	「原田第1遺跡」大分県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書第3集	大分県埋蔵文化財センター	H30.7	146	
12340	「カジメン遺跡」大分県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書第4集	大分県埋蔵文化財センター	H30.7	147	
12341	指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書第51集 水迫遺跡Ⅳ・西多羅ヶ道遺跡	指宿市教育委員会	H30.7	148	
12342	平成27・28年度博物館年報・紀要 12号	指宿市教育委員会	H30.7	149	
12343	平成30年度特別展図録「共に生きたもの」	宮崎県立西都原考古博物館	H30.8	150	
12344	2018年度夏季企画展「神戸市立博物館選 地図にみる世界と日本」図録	関西大学博物館	H30.8	151	

寄贈番号	書籍名	寄贈者	受入年月	30年度	備考
12345	『安満遺跡－平成26年度確認調査速報－』	高槻市教育委員会文化財課	H30.8	152	
12346	『安満遺跡－平成27年度確認調査速報－』	高槻市教育委員会文化財課	H30.8	153	
12347	『高槻市文化財年報 平成27年度』	高槻市教育委員会文化財課	H30.8	154	
12348	埋蔵文化財調査年報34	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	155	
12349	研究紀要 第32号	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	156	
12350	第572集 森屋敷遺跡第2地点	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	157	
12351	第573集 祇園町遺跡第11地点	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	158	
12352	第574集 砥石山遺跡第4地点	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	159	
12353	第575集 小倉城三ノ丸跡第10地点	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	160	
12354	第576集 金田遺跡第2地点	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	161	
12355	第577集 先ノ下遺跡第3地点	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	162	
12356	第578集 京町遺跡第11地点	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	163	
12357	第579集 京町遺跡第9・12地点	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	164	
12358	第580集 北浦庵寺第6次調査	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	165	
12359	第581集 則定遺跡	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	166	
12360	第582集 上徳力遺跡第27地点	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	167	
12361	第583集 木町遺跡	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	168	
12362	第584集 種田川遺跡第4地点	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	169	
12363	第585集 高槻遺跡第14地点	北九州埋蔵文化財センター	H30.08	170	
12364	日本民俗学 295	日本民具学会	H30.08	171	
12365	全国高等学校考古名品展	吉田隆一	H30.08	172	
12366	宗像・沖ノ島と大和朝廷	吉田隆一	H30.08	173	
12367	『ミュージアム知覧紀要・館報』第15号	ミュージアム知覧	H30.08	174	
12368	日本貨幣カタログ2018	日本貨幣商共同組合	H30.08	175	
12369	2017 平塚市博物館年報 No. 41	平塚市博物館	H30.09	176	
12370	2017 自然と文化 No. 41	平塚市博物館	H30.09	177	
12371	行橋の明治150年	行橋市歴史資料館	H30.09	178	
12372	大分県立歴史博物館年報2017	大分県立歴史博物館	H30.09	179	
12373	沖代条理の調査2	大分県立歴史博物館	H30.09	180	4冊
12374	大分県仏教美術調査報告4	大分県立歴史博物館	H30.09	181	
12375	大分県歴史資料調査報告書2	大分県立歴史博物館	H30.09	182	
12376	山口県埋蔵文化財センター紀要『陶埴』第31号	山口県埋蔵文化財センター	H30.09	183	
12377	『山口県埋蔵文化財センター年報』(平成29年度普及航海事業等の記録)	山口県埋蔵文化財センター	H30.09	184	
12378	原田地区遺跡群4	筑紫野市歴史博物館	H30.09	185	
12379	前畑遺跡跡第13次発掘調査土器状遺構発掘調査概要	筑紫野市歴史博物館	H30.09	186	
12380	元興寺文化財研究所研究報告書2017	公益財団法人 元興寺文化財研究所	H30.09	187	
12381	『宇野古墳群 垂水高木南遺跡』上毛町文化財調査報告書第21集	上毛町教育委員会	H30.10	188	
12382	『下唐原七社遺跡』	上毛町教育委員会	H30.10	189	
12383	『松尾山修験道遺跡』	上毛町教育委員会	H30.10	190	
12384	『文化財学報』第36集	奈良大学文学部文化財科	H30.10	191	
12385	埋蔵文化財調査要覧 平成30年度版	公益社団法人日本文化財保護協会	H30.10	192	
12386	『下高場小隈北遺跡 発掘調査報告書』筑前町文化財調査報告書 第22集	筑前町教育委員会	H30.10	193	
12387	『三国手遺跡 第2地点発掘調査報告書』筑前町文化財調査報告書 第23集	筑前町教育委員会	H30.10	194	
12388	高知県立歴史民俗資料館年報 平成29年度	高知県立歴史民俗資料館	H30.10	195	
12389	大分学事始 第1集	大分学研究会	H30.10	196	
12390	『飛天・紀要』	公益社団法人 日本文化財保護会	H30.10	197	
12391	凡字手帳	上田益三	H30.10	198	
12392	草書の字典	上田益三	H30.10	199	
12393	くずし字解説辞典 机上版	上田益三	H30.10	200	
12394	古文字類編	上田益三	H30.10	201	
12395	くずし解説字典	上田益三	H30.10	202	
12396	典字大書草(上)	上田益三	H30.10	203	

寄贈番号	書籍名	寄贈者	受入年月	30年度	備考
12397	典字大書草(下)	上田益三	H30.10	204	
12398	古典かなの知識と読みかた	上田益三	H30.10	205	
12399	用例かな大字典	上田益三	H30.10	206	
12400	収蔵資料目録 民俗5 上野家資料	長野市立博物館	H30.10	207	
12401	企画展示図録「川中島の戦いと善光寺」	長野市立博物館	H30.10	208	
12402	特別展示図録「川中島の戦い 芝居になる」	長野市立博物館	H30.10	209	
12403	紀要 第19号(人文系)	長野市立博物館	H30.10	210	
12404	ふるさと國東	長岡 恵一郎	H30.10	211	
12405	ふるさと國東 第2巻	長岡 恵一郎	H30.10	212	
12406	講演録	長岡 恵一郎	H30.10	213	
12407	原風景の残る郷	長岡 恵一郎	H30.10	214	DVD
12408	文化財調査報告書第24集「上秋月遺跡群」	朝倉市教育委員会	H30.10	215	
12409	文化財調査報告書第25集「朝倉市文化財年報(平成25年度)」	朝倉市教育委員会	H30.10	216	
12410	オークラコレクション	九州国立博物館	H30.10	217	
12411	「第14回大分アジア彫刻展図録」	大分アジア彫刻展実行委員会事務局	H30.11	218	
12412	「第96回企画展 すごいぞ!江戸の科学」展示図録	群馬県立歴史博物館	H30.11	219	
12413	「災害に対処するための近世城郭の記録化-3Dと災害の考古学-」	別府大学文学部	H30.11	220	3部
12414	民具マンスリー第51巻5号	神奈川大学日本常民文化研究所	H30.11	221	
12415	民具マンスリー第51巻6・7号合併号	神奈川大学日本常民文化研究所	H30.11	222	
12416	西鉄筑紫駅列車銃撃事件の記録 筑紫野市文化財調査報告書第115集	筑紫野市教育委員会	H30.11	223	
12417	「安宕下武家屋敷群 -陸奥-関藩田村家屋敷跡道路- 発掘調査報告書」	港区教育委員会	H30.11	224	
12418	「熊本市文化財調査年報 第20号 平成28年度」	熊本市教育委員会	H30.12	225	
12419	「小塚遺跡1 一般道砂原四方寄線道路改良工事に伴う 埋蔵文化財調査報告書(4)」	熊本市教育委員会	H30.12	226	
12420	「桑崎遺跡群2 一般道砂原四方寄線道路改良工事に伴う 埋蔵文化財調査報告書(5)」	熊本市教育委員会	H30.12	227	
12421	「関川遺跡群1 一般道砂原四方寄線道路改良工事に伴う 埋蔵文化財調査報告書(6)」	熊本市教育委員会	H30.12	228	
12422	「関川遺跡群2 一般道砂原四方寄線道路改良工事に伴う 埋蔵文化財調査報告書(7)」	熊本市教育委員会	H30.12	229	
12423	「関川遺跡群3 一般道砂原四方寄線道路改良工事に伴う 埋蔵文化財調査報告書(8)」	熊本市教育委員会	H30.12	230	
12424	「関川遺跡群4 一般道砂原四方寄線道路改良工事に伴う 埋蔵文化財調査報告書(9)」	熊本市教育委員会	H30.12	231	
12425	「関川遺跡群5 一般国道3号横木バイパス改築事業に伴う 文化財調査報告書」	熊本市教育委員会	H30.12	232	
12426	「池通寺岡遺跡群 一般道砂原四方寄線道路改良工事に伴う 埋蔵文化財調査報告書(3)」	熊本市教育委員会	H30.12	233	
12427	「三頭遺跡II 第14次調査報告書」	熊本市教育委員会	H30.12	234	
12428	「上代町遺跡群I -上代町遺跡群第5次調査区発掘調査報告書-」	熊本市教育委員会	H30.12	235	
12429	「西南戦争140年記念シンポジウム 記録集 熊本城炎上の謎に迫る」	熊本市教育委員会	H30.12	236	
12430	「熊本市埋蔵文化財調査報告書-平成29年度-第1分冊」	熊本市教育委員会	H30.12	237	
12431	「熊本市埋蔵文化財調査報告書-平成29年度-第2分冊」	熊本市教育委員会	H30.12	238	
12432	「史料館研究紀要 第23号」	大分県先哲史料館	H30.12	239	
12433	平成30年度特別展 福澤諭吉 独立自學へといたる道	大分県立歴史博物館	H30.12	240	2冊
12434	平成30年度秋季特別展覧会 八代の歴史と文化 28 ザ・家老 松井康之と興長~細川家を支え続けた「忠義」~	八代市立博物館未来の森ミュージアム	H30.12	241	
12435	民具研究 第158号	日本民具学会	H30.12	242	
12436	川内歴史資料館「平成29年 年報」	薩摩川内市川内歴史資料館	H30.12	243	
12437	石見津和野藩亀井家屋敷遺跡発掘調査報告書IV	国際文化財株式会社	H30.12	244	
12438	「立出遺跡」	宇佐市教育委員会	H30.12	245	
12439	「市内遺跡発掘調査概報26」	宇佐市教育委員会	H30.12	246	
12440	「国指定天然記念物「宇佐神宮社叢」緊急報告書」	宇佐市教育委員会	H30.12	247	
12441	玉名市文化財課調査報告書第40集「塚原遺跡II」	玉名市教育委員会	H30.12	248	
12442	平成30年度鬼北町埋蔵文化財活用事業「等妙寺旧境内史跡指定 10周年記念シンポジウム-中世等妙寺の具体像に迫る-」資料冊子	鬼北町教育委員会	H30.12	249	
12443	民具マンスリー 第51巻8号	神奈川大学日本常民文化研究所	H30.12	250	
12444	民具マンスリー 第51巻9号	神奈川大学日本常民文化研究所	H30.12	251	
12445	日本民俗学 296	日本民具学会	H30.12	252	
12446	近代東京における国家と天皇に関わる 儀礼空間の研究	長谷川 香	H30.12	253	

寄贈番号	書籍名	寄贈者	受入年月	30年度	備考
12447	天草キリシタン館 館報第4号	天草市立天草キリシタン館	H30.12	254	
12448	天草キリシタン館 館報第5号	天草市立天草キリシタン館	H30.12	255	
12449	「科研費基盤研究A[新・日韓交渉の考古学-弥生時代-]第1回共同研究会資料」	福岡大学	H30.12	256	
12450	「立願寺大塚古墳測量調査報告書」	福岡大学	H30.12	257	
12451	「柏原歴史の道の散歩道」	福岡大学	H30.12	258	
12452	2018年国東農業研修報告書	武蔵大学人文学部	H30.12	259	
12453	「第2次 特別史跡基肄城跡保存整備基本計画」	基山町教育委員会	H31.1	260	
12454	「野入遺跡-第3次調査-」基山町文化財調査報告書第33集	基山町教育委員会	H31.1	261	
12455	平成29(2017)年度 福岡市埋蔵文化財センター年報 第37号	福岡市埋蔵文化財センター	H31.1	262	
12456	古語大辞典	上田 益三	H31.1	263	
12457	角川日本地名大辞典	上田 益三	H31.1	264	
12458	「地域創造」第44号	一般財団法人地域創造	H31.1	265	
12459	「国立歴史民俗博物館研究報告」第212集	国立歴史民俗博物館	H31.1	266	
12460	文化財調査報告書第26集「下古毛遺跡」	朝倉市教育委員会	H31.1	267	
12461	文化財調査報告書第27集「上須川遺跡群」	朝倉市教育委員会	H31.1	268	
12462	春日市文化財調査報告書 第78集「須玖唐梨遺跡2」	春日市教育委員会	H31.2	269	
12463	平成28年度 春日市文化財年報	春日市教育委員会	H31.2	270	
12464	京都府埋蔵文化財情報 第134号	京都府埋蔵文化財センター	H31.2	271	
12465	抜萃のつづり その七十八	クマヒラ(熊平製作所)	H31.2	272	2部
12466	京都・醍醐寺 真言密教の宇宙	吉田隆一	H31.2	273	
12467	国立歴史民俗博物館研究報告 第213集	国立歴史民俗博物館	H31.2	274	
12468	写真アルバム 大隅半島の昭和	有限会社 樹林舎	H31.2	275	
12469	「宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第246集 平底第2遺跡」	宮崎県埋蔵文化財センター	H31.2	276	
12470	大分県の名樹	公益財団法人 森林ネットおおい	H31.2	277	
12471	佐賀市埋蔵文化財調査報告書109集「榎木遺跡 -7B区の調査-」	佐賀市教育委員会	H31.2	278	
12472	佐賀市埋蔵文化財調査報告書110集「久遠井二本松遺跡 -8区の調査- 榎木遺跡 -7A区の調査-」	佐賀市教育委員会	H31.2	279	
12473	佐賀市埋蔵文化財調査報告書111集「佐賀市埋蔵文化財調査報告書-2015年度-」	佐賀市教育委員会	H31.2	280	
12474	佐賀市埋蔵文化財調査報告書112集「壱久遺跡-4区の調査-」	佐賀市教育委員会	H31.2	281	
12475	佐賀市埋蔵文化財調査報告書114集「佐賀城跡V -東堀の調査-整備-【第一分冊/調査編】	佐賀市教育委員会	H31.2	282	
12476	佐賀市埋蔵文化財調査報告書114集「佐賀城跡V -東堀の調査-整備-【第二分冊/調査編】	佐賀市教育委員会	H31.2	283	
12477	佐賀市埋蔵文化財調査報告書115集「灰塚遺跡 -1区の調査-」	佐賀市教育委員会	H31.2	284	
12478	佐賀市埋蔵文化財調査報告書116集「尼寺一本松・鍵尾遺跡-8区の調査-」	佐賀市教育委員会	H31.2	285	
12479	佐賀市埋蔵文化財調査報告書117集「灰塚尼寺四本杉遺跡-5区の調査-」	佐賀市教育委員会	H31.2	286	
12480	佐賀市埋蔵文化財調査報告書118集「今山八幡籠遺跡-1区の調査-」	佐賀市教育委員会	H31.2	287	
12481	「東名遺跡のすべて 歴史をぬりかえた縄文のタイムカプセル 2017年度改訂版」	佐賀市教育委員会	H31.2	288	
12482	「有明海の恵みと縄文文化 -有明海と人との関わり、その始まりと展開- 企画展解説資料」	佐賀市教育委員会	H31.2	289	
12483	「古代の地方都市 肥前国府」	佐賀市教育委員会	H31.2	290	
12484	柳川市文化財調査報告書 第14集「上町遺跡II」	柳川市教育委員会	H31.2	291	
12485	多久市文化財調査報告書 第57集 多久市内遺跡発掘調査報告書(8) 平成24年度~26年度の調査	多久市教育委員会	H31.2	292	
12486	「総社市埋蔵文化財調査報告書」27 高本古墳群II	総社市教育委員会	H31.2	293	
12487	「総社市埋蔵文化財調査報告書」28 狩谷遺跡・狩谷古墳群	総社市教育委員会	H31.2	294	
12488	「総社市埋蔵文化財調査年報」27	総社市教育委員会	H31.2	295	
12489	長野県安曇野市穂高古墳群 2016・2017年度F9号墳発掘調査報告書	國学院大学考古学研究室	H31.2	296	
12490	日本民俗学 第297号	日本民俗学会	H31.3	297	
12491	第53回全国史跡整備市町村協議会 大会議事録	全国史跡整備市町村協議会	H31.3	298	
12492	博物館学芸員実習記録 すみあ〜と 21号	神戸女子大学史学科	H31.3	299	
12493	国東半島・宇佐の文化 第24号	国東半島・宇佐の文化を守る会	H31.3	300	6冊
12494	大津波被災文化財保存修復プロジェクト 安定化処理(2015改訂版)	日本博物館機構	H31.3	301	
12495	大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト 安定化処理(2018増補版)	日本博物館機構	H31.3	302	
12496	(仮称)国東市国見風力発電事業に係る 計画段階環境配慮書 平成30年9月	合同会社NEW-09インベストメント	H31.3	303	
12497	(仮称)国東市国見風力発電事業に係る 計画段階環境配慮書(要約書) 平成30年9月	合同会社NEW-09インベストメント	H31.3	304	
12498	大分市伝統文化調査報告書 7 鶴崎地区	大分市教育委員会	H31.3	305	

寄贈番号	書籍名	寄贈者	受入年月	30年度	備考
12499	大分市伝統文化調査報告書 8 上野岡・碩田地区	大分市教育委員会	H31.3	306	
12500	大分市伝統文化調査報告書 9 西大分地区	大分市教育委員会	H31.3	307	
12501	大分市伝統文化調査報告書 10 杵原地区	大分市教育委員会	H31.3	308	
12502	いろいろな色の物語 大分県から絵の具をつくる	大分県立美術館	H31.3	309	
12503	玉名市立歴史博物館ころびあ企画展図録 歌と生きる規工川仙輔と歌を詠む人びと	玉名市立歴史博物館ころびあ	H31.3	310	
12504	『高木原遺跡』熊本合志市文化財調査報告第4集	合志市教育委員会	H31.3	311	
12505	大分県立美術館 研究紀要第3号	大分県立美術館	H31.3	312	
12506	大分県立美術館 年報 平成29年度	大分県立美術館	H31.3	313	
12507	八幡古表神社の乾衣祭(吉富町文化財調査報告書 第6集)	吉富町教育委員会	H31.3	314	
12508	小丸遺跡 -大分県教育委員会調査に伴う埋蔵文化財発掘調査-(吉富町文化財調査報告書 第7集)	吉富町教育委員会	H31.3	315	
12509	九州龍谷短期大学紀要第65号	九州龍谷学会	H31.3	316	
12510	神奈川大学日本常民文化研究所論集35	神奈川大学日本常民文化研究所	H31.3	317	
12511	『民具マンスリー』51巻10号	神奈川大学日本常民文化研究所	H31.3	318	
12512	『民具マンスリー』51巻11号	神奈川大学日本常民文化研究所	H31.3	319	
12513	『民具マンスリー』51巻12号	神奈川大学日本常民文化研究所	H31.3	320	
12514	『西都市埋蔵文化財発掘調査報告書第73集』『市内遺跡発掘調査報告書 XV 西都原地区遺跡』	西都市教育委員会	H31.3	321	
12515	『平成29年度 福岡市美術館 活動の記録』	福岡市美術館	H31.3	322	
12516	『福岡市美術館研究紀要 第7号』	福岡市美術館	H31.3	323	
12517	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター調査年報31	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター調査	H31.3	324	
12518	平成29年度(2017年度)日田市埋蔵文化財年報	日田市教育委員会	H31.3	325	
12519	手嶋遺跡3次 日田市埋蔵文化財調査報告書第131集	日田市教育委員会	H31.3	326	
12520	求来里の遺跡V 日田市埋蔵文化財調査報告書第132集	日田市教育委員会	H31.3	327	
12521	上井出遺跡4次 日田市埋蔵文化財調査報告書第133集	日田市教育委員会	H31.3	328	
12522	日田条理遺跡飛矢地区2次 日田市埋蔵文化財調査報告書第134集	日田市教育委員会	H31.3	329	
12523	柳ノ本遺跡1・2次 日田市埋蔵文化財調査報告書第135集	日田市教育委員会	H31.3	330	
12524	重要文化財景観 小畑田の里 保存整備事業報告書 -池ノ端地区欄田整備報告書-	日田市教育委員会	H31.3	331	
12525	佐賀市文化財調査報告書第22集『吉野+里遺跡-平成13~23年度の発掘調査 発掘時代学報告書-補遺編-』	佐賀市教育庁文化財課	H31.3	332	
12526	玉名市文化財調査報告書第41集「玉名市内遺跡調査報告書11」	玉名市教育委員会	H31.3	333	
12527	玉名市文化財調査報告書第42集「高瀬船場跡関連遺跡調査報告書」	玉名市教育委員会	H31.3	334	
12528	玉名市文化財調査報告書第43集「高岡原遺跡II」	玉名市教育委員会	H31.3	335	
12529	『群馬県立歴史博物館紀要代39号』	群馬県立歴史博物館	H31.3	336	
12530	沖出古墳II -嘉麻市文化財調査報告書第4集-	嘉麻市生涯学習課	H31.3	337	
12531	巨大集落の誕生 -嘉麻の遺跡ブックレット Vol.2 -	嘉麻市生涯学習課	H31.3	338	
12532	『宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第245集 塚原遺跡II G・H・I・J地点』	宮崎県埋蔵文化財センター	H31.3	339	
12533	『宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第247集 平田遺跡 F地点・G地点』	宮崎県埋蔵文化財センター	H31.3	340	
12534	雲仙市文化財調査報告書 第18集	雲仙市歴史資料館 国見展示室	H31.3	341	
12535	大村市文化財調査報告書 第43集『大村市 市内遺跡発掘調査概報9』	大村市教育委員会	H31.3	342	
12536	下関市文化財調査報告書46『丸小山墳墓群』 山口県下関市大字延行字幸地ヶ森地内 丸小山墳墓群発掘調査報告書	下関市教育委員会	H31.3	343	
12537	西南学院大学博物館年報 第10号	西南学院大学	H31.3	344	
12538	国立歴史民俗博物館研究報告 第215集	国立歴史民俗博物館	H31.3	345	
12539	『米竹遺跡7』第13次 保存所建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	大分市埋蔵文化財保存活用センター	H31.3	346	
12540	『細遺跡1』-細地区環境整備事業に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書-	大分市埋蔵文化財保存活用センター	H31.3	347	
12541	『大友府内26』中世大友府内町跡 中世大友府内町跡 第127次調査-共同住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	大分市埋蔵文化財保存活用センター	H31.3	348	
12542	『大友府内27』中世大友府内町跡 第111・114・117・120・121・122・123次調査	大分市埋蔵文化財保存活用センター	H31.3	349	
12543	『大友府内28』中世大友府内町跡 第126次調査-集合住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	大分市埋蔵文化財保存活用センター	H31.3	350	
12544	『大友府内29』中世大友府内町跡 第129次調査-集合住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	大分市埋蔵文化財保存活用センター	H31.3	351	
12545	『大友府内30』中世大友府内町跡 第130次調査-長浜小学校児童館併設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	大分市埋蔵文化財保存活用センター	H31.3	352	
12546	『大友府内31』中世大友府内町跡 第131次調査-集合住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	大分市埋蔵文化財保存活用センター	H31.3	353	
12547	『城原C遺跡1』-教会建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	大分市埋蔵文化財保存活用センター	H31.3	354	
12548	『大友府内32』中世大友府内町跡 第132次調査-集合住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	大分市埋蔵文化財保存活用センター	H31.3	355	

寄贈番号	書籍名	寄贈者	受入年月	30年度	備考
12549	「大分市埋蔵文化財調査概要報告 2017」－平成 28 年度版－	大分市埋蔵文化財保存活用センター	H31.3	356	
12550	「高松東遺跡」第 2 次調査－店舗建設に伴う埋蔵文化財調査発掘調査報告書－	大分市埋蔵文化財保存活用センター	H31.3	357	
12551	「川南町文化財調査報告書 11 井手ノ上村遺跡」	川南町教育委員会	H31.3	358	
12552	新富町文化財調査報告書 第 73 集 町内遺跡 31 平成 30 年度町内遺跡発掘調査概要報告書	新富町教育委員会	H31.3	359	
12553	「小郡南原遺跡・小郡堂の前遺跡 3」小郡市文化財調査報告書 第 314 集	小郡市教育委員会	H31.3	360	
12554	「福童町遺跡 14 小郡市文化財調査報告書 第 315 集	小郡市教育委員会	H31.3	361	
12555	「埋蔵文化財調査報告書 10」小郡市文化財調査報告書 第 316 集	小郡市教育委員会	H31.3	362	
12556	「埋蔵文化財調査報告書 2」小郡市文化財調査報告書 第 317 集	小郡市教育委員会	H31.3	363	
12557	京都府埋蔵文化財情報 第 135 号	公益財団法人京都埋蔵文化財調査センター	H31.3	364	
12558	「別府市 市内遺跡確認調査報告書」	別府市教育庁 社会教育課	H31.3	365	
12559	「鬼ノ岩屋古墳群 装飾調査に関する概要報告書」	別府市教育庁 社会教育課	H31.3	366	
12560	都城市文化財調査報告書 第 137 集「城山原遺跡(第 4 次調査)」	都城市教育委員会	H31.3	367	
12561	都城市文化財調査報告書 第 139 集「都城跡」	都城市教育委員会	H31.3	368	
12562	都城市文化財調査報告書 第 141 集「都城市内遺跡 12」	都城市教育委員会	H31.3	369	
12563	「宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第 249 集 嫁坂遺跡Ⅱ」	宮崎県埋蔵文化財センター	H31.3	370	
12564	「宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第 248 集 青木遺跡」	宮崎県埋蔵文化財センター	H31.3	371	
12565	平成 30 年度アーツ・コンソーシアム大分 構築計画実績報告書	アーツ・コンソーシアム大分	H31.3	372	
12566	神埼市文化財調査報告書 28 集「市内遺跡確認調査報告書 XI」	神埼市教育委員会	H31.3	373	
12567	「干潟京の坪遺跡」小郡市文化財調査報告書 第 318 集	小郡市教育委員会	H31.3	374	
12568	「吹上村団遺跡」小郡市文化財調査報告書 第 319 集	小郡市教育委員会	H31.3	375	
12569	「三沢権遺跡 3」小郡市文化財調査報告書 第 320 集	小郡市教育委員会	H31.3	376	
12570	「上岩田遺跡 15」小郡市文化財調査報告書 第 321 集	小郡市教育委員会	H31.3	377	
12571	都城市文化財調査報告書 第 136 集「土角遺跡」	都城市教育委員会	H31.3	378	
12572	都城市文化財調査報告書 第 137 集「安永城跡二之丸」	都城市教育委員会	H31.3	379	
12573	京都・醍醐寺 真言密教の宇宙	九州国立博物館	H31.3	380	

国東市歴史体験学習館年報 第18号

発行日 平成31年3月(2019年)

発行 国東市歴史体験学習館  
〒873-0504 国東市国東町安国寺1639-2  
TEL 0978-72-2677  
FAX 0978-72-2505

印刷 明治印刷株式会社

